



広東という旅へ





1

旅行なら、広東にようこそ!



広東はますます美しくなり、より多くの人に知られている。広東に憧れ、広東へ旅立つ人も増えている。

中国では広東の略称は「粵（えつ）」であり、「悦」の発音と同じである。旅行者にとっては、旅行の本質が「悦」にあり、旅行は「目を悦ばせ、心を悦ばせ、精神を悦ばす」ことを求める過程ではないかと思われる。広東は、旅行のために生まれた場所だと言っても過言ではない。

広東は実に美しい。

海と山の間に広東省を珠江という大河が滔々と流れている。このような山水は広東に味わいの深い自然をもたらした。ユネスコ世界自然遺産の丹霞山は、「丹霞地形」の代名詞である。丹霞山を巡ったバラ色の雲、深紅



のかすみ、切り立った懸崖、紅色の山塊、奥深い峡谷、壮観な滝、緑の水などが印象深い景色を生み出している。広東省のカルスト地形も世界自然遺産であり、山のように大きな一枚岩が英西回廊や鼎湖山などで随所見える。珠江は広東にとっては母なる川であり、ナイトツアーで珠江を観賞する場合、その美しさがドナウ川に匹敵できる。広東は中国最長の海岸線を持ち、「広袤海岸八千里、東西十四城不同（果てしなく広い4000キロの海岸線に風格それぞれの14の海浜都市を持つ）」と語られ、ロマンチックな結婚式を挙げられる海浜景色もあれば、ダイビング、水泳ができる澄んだ海水もある。広東の多様多彩な海浜では、海の素晴らしさを存分に体感しよう。



広東の素晴らしさは山水に留まらず、人文にもある。「人」は広府人、客家人、潮汕人、それぞれに風情や素敵さがあるが、寛容で気前が良く、大胆で開拓精神があり、海のような器量を持つのは広東人共通の特徴であり、美德でもある。広東人は「陸海人」であり、大陸で生きる人々のように現実的、実務的でありながら、海辺で生きる人々のように情熱で開拓精神に富む。広東は禅宗の発祥地であり、菩提達磨が上陸した広州から、六祖慧能のふるさとである雲浮、そして禅の集大成となる韶関まで、光孝寺、国恩寺、南華寺は「明心見性」の文化を伝承し、提唱している。広東人は「仏法不外求、自身



是真仏（仏法は外に求めず、自身が真の仏）」と強調し、自身の内心にある最も素晴らしい世界を追求し、悠々自適の生活を楽しむ。この観点は江門の陳白沙と増城の湛若水に伝承され、広東人の性格に定着し、広東の「大俗大雅」の文化の形成に繋がった。

広東の文化は包容力が高く、真・善・美を追求している。広彩、潮繡、客家土楼はその例であり、雅文化である広東大戲（粵劇）、嶺南画派、俗文化である標色、焼龍、鷄公榄、黄飛鴻並びに獅子舞、涼茶などを含めた数多くの文化は、生活の美、伝統の真、生命の善を謳歌している。



広東は市民社会でもある。中国の大きな町は「北平城（北京）」、「漢口鎮（武漢）」、「上海灘（上海）」のような別称があるが、広州は古くから「広州市」と呼ばれたのも商業都市としての証しでもある。広州は千年にわたって中国の商都であり、改革開放の先鋒になり、深圳の奇跡と経済特区を生み出した。現在は、3つの自由貿易試験区（広州・深圳・珠海）、港珠澳大橋と粵港澳大湾区（広



東省・香港・マカオからなる世界レベルのベイエリア）が現れ、ニューヨークベイエリアを凌駕する世界的経済圏になりつつある。広東は中国の商業奇跡を創り続けている。上下九騎楼（一階の部屋がなく、柱で支え、歩行者空間を作った建物）と西関大屋（広東省の伝統建物）に世界一の大富豪と西関大小姐（西関のお嬢さん）が入り出したことがあり、梅州大埔では「胡雪岩」以上のお金持ち「張弼士」が生活したことある。潮汕人の李嘉誠が現代の商業伝奇を書き上げ、その功績は言うまでもない。広州の広交会（広州交易会、正式名称は中国輸出入商品交易会）、深圳の発展スピード、東莞という世界製造業の都、それに広州の「小蛮腰（＝繊細な腰、広州タワーの愛称）」、東塔西塔は、すべて中国の現代化の進展を見守っている。世界をリードする開拓精神に基づいて、今日の広東は華為（HUAWEI、ファーウェイ）、騰訊（Tencent）、大疆（DJI）など、中国の情報化社会や、匠の精神を備える工業化社会の構築に貢献する最先端企業を次々と生み出している。

市民社会と言え、小学生の教科書に書かれた「桑基魚塘」と「蔗基魚塘」（いずれも中国伝統の自然循環養殖法）を思い出す。魚というのは、「鮮」の字の一部でもあり、広東人の食卓に欠かせない食材である。珠江デルタは神様の恩賜のように、自然に恵まれている。潮汕平野は海に向かって、中国の食文化を代表する「食在広州、厨出鳳城（美食は広州、料理人は鳳城、鳳城は順徳の別称）」、「頭啖湯（一口目のスープ）」、「生猛海



鮮（獲れたての魚介類）」、「一盅两件（一杯のお茶に2品の点心）」、「潮汕人的郷愁叫粿（潮汕人の郷愁は粿と呼ばれる、粿は粿条という米粉由来の麺類）」、「打冷（潮州料理での夜食）」、「年例（地方のお祭り）」、「清遠鷄（清遠地方の名物料理）」……広東では、足取りが止まっても、お箸が止まらない。

食為天（食をもって天となす）の広東人は、もちろん美味以外の追求もある。「香清益遠」の「清遠」、「陽春召我以煙景（うららかな春は霞のかかった景色を持って我を呼び寄せる）」の「陽春」、「湛湛江水兮上有楓（湛湛たる川水の上に楓が乗っている）」の「湛江」などの地名のように、広東人の生活には「鑊气（作り立てのおいしさ）」と共に詩意も宿っている。犬などを追い払うために、携帯まで利用することもあるし、また、一足のスニーカーを一年中履いても構わないこともある。つまり、諺の「花より団子」というように、外見よりも中身を重視するのが広東人である。広東の冬日和は暖か



く、旧正月の花市は全国的に名高く、「広東過年、花城看花（広東で旧正月を過ごし、花城で花を見る）」は中国人の暖冬作戦の一部になっている。

北回帰線が通るため、広東省は気候がよく、丸棒でも土にさせば芽の出る地だと言われる。ここでは木のまるごとに花が満開し、四季を渡っても枯れない、ライチ、竜眼、パイナップルやバナナなど、様々なトロピカルフルーツを満喫でき、休暇と農泊ツアーも楽しめる。中国トップレベルの商業化を成し遂げた一方、開平楼閣、圍楼、騎楼、陳家祠、蠔殼屋、「潮州厝， 皇宮起（潮州の家屋は皇宮に倣って作られている）」は広東人の郷愁をそそる。開平楼閣は世界文化遺産にもなった。それに対して現代知恵の結晶となる「東部華僑城」、「広州長隆と珠海長隆」、「長鹿農莊」は家族旅行、親子旅行に最適な場所であり、そこで子供と手を繋いで、知育をしながら、観光を存分に楽しめる。



広東に何回来ても飽きない、広東の素晴らしさは語り切れない。広東は中国の旅行業界で最も重要な観光客源と観光地になった。

アクティブな広東で心を悦ばせる旅を！ —
このような旅は、「広東」と言う。







2

心を悦ばせる広東の歩き方

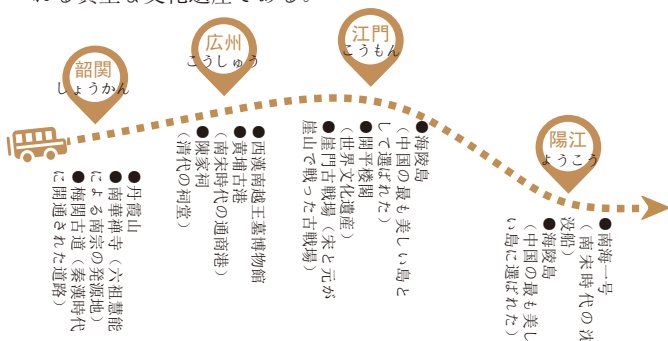


天地に大美があり，その精華は南粵にある

世界遺産の旅

山と海の間にある広東は傑出した人物が輩出した地であり、風水宝地（縁起の良い地）とも言われる。嶺南の特色に備えた山水と文化は、様々な世界的遺産を生み出した。

そのうち、広東の「丹霞山」と「開平楼閣と村落」はユネスコに世界遺産と認定され、粵劇と広東剪紙（切り絵細工）なども無形文化遺産と認定された。広東の丹霞山は「丹霞地形」という地形名称の由来として世界中の知名度が高い。開平楼閣は中国の郷土建築として特別な存在であり、「斜陽旧影処、遊子夢鄉情（斜陽の影には遊子のふるさとの夢がある）」という僑郷（華僑の故郷）文化が濃厚である。粵劇は「広東大戯」とも呼ばれ、「南国のあずき（唐あずきは、古詩文の中でよく相思相愛の象徴とされる）」の美名もある。広東剪紙は特に仏山、潮州地区で盛んであり、地方的特色が濃厚である。そして禅宗の祖庭である南華寺、嶺南祠堂の代表となる陳家祠、及び海上シルクロードの文化的ランドマークなどは、世界中に名を知られる貴重な文化遺産である。





丹霞山

丹霞山は丹霞地形という名称の由来であり、2004年に初回の世界ジオパーク審査で当選され、2010年にユネスコ世界自然遺産と認定された、まさに「世界の丹霞」である。

丹霞山は赤い砂岩や礫岩から構成され、まさに「丹霞」の世界、「色如渥丹、燦若明霞（ヒメユリのような色で、朝がすみのようにかがやく）」、切り立った赤い断崖で知られている。丹霞山周辺の山寨という観光エリアは錦水、田園、村落及び仙境のような群山から構成され、丹霞地形の最も壮観で、完璧で、代表的景観である。丹霞山の長老峰はご来光を拝み、山並みを眺望する絶好のスポットである。また、陽元石観光エリアは天下第一奇石と呼ばれる陽元石で名付けられた。丹霞山の美しさは錦江にあり、玉液のような碧水が丹霞の山々から蜿蜒として流れ、人はその美景にふけて帰らなくなろう。

所在地：韶関市仁化県





西漢南越王墓博物館

南越王墓は西漢初期の南越国王2世趙昧（南越王趙佗の孫）のお墓である。この王墓には極めて貴重な「文帝行璽」の金印と「糸縷玉衣」等の文物が保管され、広州城の2000年以上の歴史や、南越国の歴史と秦漢時代の嶺南地区の開拓史を語っている。そのうち「鎮墓の宝」と言われる「文帝行璽」の金印は中国の考古史上初めて出土された皇帝印である。南越王墓は中国で発見された最古の彩色壁画付きの石造大墓であり、中国の近代考古の5大新発見の一つと褒め称えられている。

南越王墓博物館は古墓をめぐった山沿いに建てられた嶺南スタイルの現代建築である。そのデザイナーの何鏡堂院士は2010年上海万博中国館の設計者でもある（上海万博中国館は中国初の「国家一級博物館」の一つである）。

所在地：広州市解放北路867号

開平樓閣と古村落

2007年、開平樓閣と古村落はユネスコに世界文化遺産と認定され、広東省初の世界文化遺産となった。

開平樓閣と古村落は僑郷（華僑の故郷）特有の郷土建築様式であり、僑郷文化の代表とも言われる。開平樓閣は明代の後期から建造され、防衛、居住、水防など様々な機能がある多層塔楼式の建築である。中洋折衷が開平樓閣の特色であり、古代ギリシャ、古代ローマ、イスラムなどの風格を取り入れた建築要素が随所見える。中国の他所の西洋建築と違って、開平樓閣は僑郷の住民たちが積極的に西洋建築意匠を取り入れ、地元の建築意匠と融合させた産物である。開平樓閣と古村落には1000ヶ所以上の歴史的建造物が保存されており、最も代表的な樓閣が塘口鎮（迎龍樓、カナダ村、立園、方氏灯樓、自力村）、赤坎鎮、百合鎮（馬降龍村）、蚬崗鎮（錦江里村）などに集中している。

所在地：江門開平市





陈家祠

陳氏書院、俗に「陳家祠」と呼ばれ、「百粵冠祠（百粵の地の冠となる祠）」と称賛されている。広東に現存する祠堂の中で規模が最も大きく、最もよく保存され、嶺南特色が最も鮮明な芸術建築群であり、広州の看板として、中国の「全国重点文物保护单位」と認定された。

陳家祠は清・光緒14年から建造され、敷地面積15,000平方メートル、三進六院落（建築全体が三部分に仕切られ、六つの中庭がある）、大広間9間と部屋10室から構成され、嶺南建築の集大成であり、広繡や灰塑などの広州の無形文化遺産の「大本营」でもある。また、「三彫」（石彫、木彫、煉瓦彫刻）、「三塑」（陶塑、灰塑、彩塑）並びに鑄鉄と色彩上絵などの装飾芸術も有名である。

所在地：広州市中山七路恩龍里34号



南海一号

南海一号博物館は広東海上シルクロード博物館の別名であり、「南海一号」という船で命名された。ここも海上シルクロードの歴史を復元できたことで名を知られた。

「南海一号」はこれまで中国で発見された最も古い（南宋初期）、船体の最も大きい（長さ30.4メートル、幅9.8メートル、高さ4メートル）、保管された文物が最も多い（8万点以上、総価値1000億ドル以上）遠洋貿易商船であり、800年前に海上シルクロードを通して海外へ磁器を輸送した沈没船である。南海一号の引き上げは、中国考古史上の重大な出来事であった。南海一号は現在広東海上シルクロード博物館の水晶宮に静かに置かれている。

所在地：陽江市海陵島試験開発区





蔚廂

左足に中華の伝統、右足に南嶺の韻致

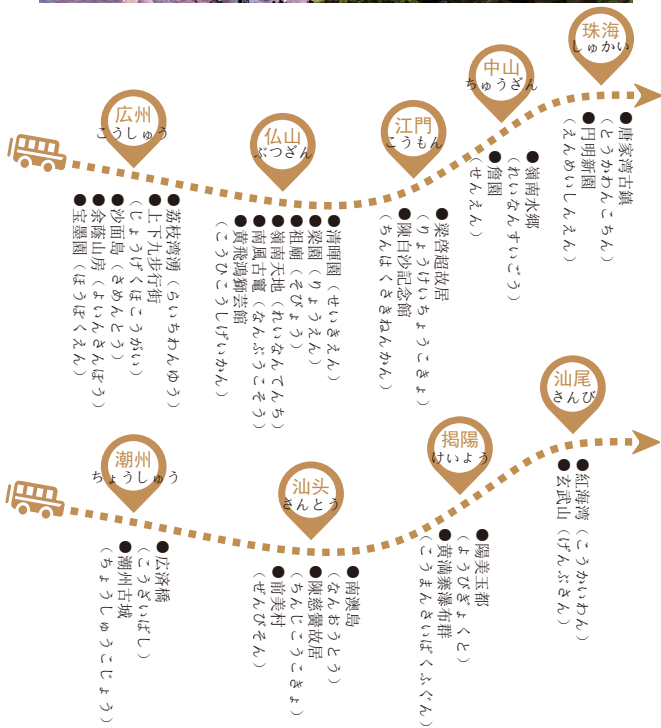
広東風情の旅

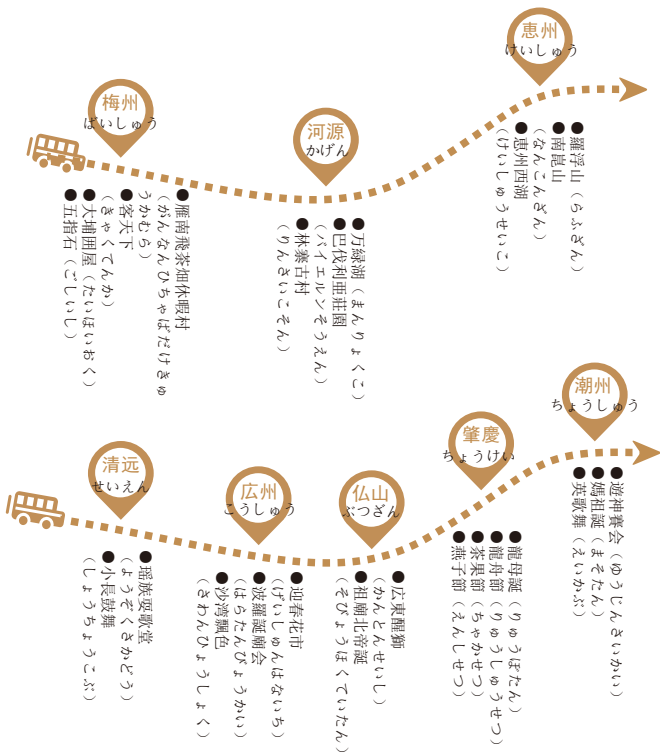
広東の漢民族は、広府、客家と潮汕の三大系統に分けられる。三大系統の住民たちは長い歳月にわたってそれぞれの生活習慣，文化意識，それに性格特徴を保持し，多彩で魅力的な広東文化を築き上げた。

広府人は実務に励み，楽観的で包容力がある。開拓精神がありながら，伝統を大切にしているため，様々な文化領域において歴史の由緒と鮮明な個性を表現している。例えば広府大戯（粵劇）、嶺南画派、行花街（花市）、獅子舞、波羅誕、騎楼、鍋耳屋、生猛海鮮（獲れたての海鮮物）、老火靚湯（ゆっくり煮込んだ養生スープ）等。

潮汕人は中国のユダヤ人とも言われ、困難に耐え苦勞を厭わず、義理が堅い一方で、海洋文化の薰陶を受け、チャレンジ精神がある。潮汕人は濃厚な文化伝統により、居住環境に工夫する習慣がある。繊細な潮州料理、精美な潮州磁器、潮繡や潮劇、それに美しくて精緻な石彫、煉瓦彫刻、灰塑、金漆木彫等も潮汕文化の代表である。

広東人の中で客家人は最も中原地区の伝統文化に従う民系である。客家人は親族が土楼、圍楼に集まって住居し、一族で必ず祠を完備し、系譜を中断なく編集する、という親族観念が非常に強い。大埔圍屋、花萼楼及び正方形の泰安楼は客家圍屋の代表である。また、客家人は即興的に山歌を歌うのが好きで、歌詞に比興の修辞手法がよく使われている。







荔枝湾湧

荔枝湾湧は、略に荔枝湾とも呼ばれ、広州市龍津路から多宝路の一带、泮塘周りの縦横に入り交じっている水路の総称である。「湧」はここでは小さな川の意味を指す。

広州は西から東へ発展して来た町であり、清代までは、広州の中心は町の西部にあった。行商人や大家族はみなその一带に集居し、「海山仙館」のような園林宅邸を建造し、川沿いにライチの木を植えた。「一湾春水緑、兩岸荔枝紅（春水が緑になり、その兩岸のライチが実る）」になる際に、人たちが画舫に乗り、川を遊覧し、歌を歌ったり音楽を吹奏したり、とても賑やかである。水上花市や七夕灯会、それに北帝誕などの祭日になると、鷄公榄の売り声や咸水歌の笑いさざめく声が織りなし、観光客は竹昇麵や牛雜などの美食を味わいながら地元の民俗風情を体験し、文塔、民居、龍津橋から構成された嶺南の絵巻風景を満喫できる。

所在地：広州市荔湾区

清暉園（せいきえん）

清暉園は嶺南四大名園の中で歴史が最も長く、規模が最も大きい庭園であり、嶺南士大夫（官僚）園林の代表作である。

清暉園は明代の天啓元年（西暦1621年）に建造され、「誰言寸草心、報得三春暉（誰も知ろうとはしない、道端に生えているちょっとした草の願いを、つまらない草だって、何とかして報いたいと願っているのだ、孟春仲春季春の陽光の僥倖に。）」との「遊子吟」の詩にちなんで命名された。清暉園は元々明末状元の黄士俊が建造した黄氏花園であった、明清の文化、嶺南の古園林建築、それに江南の園林藝術と珠江デルタの水郷特色を一体化させ、静寂優雅な雰囲気を生み出した。園中最も特色のある建築は碧溪草堂であり、門には木彫の「百寿図」があり、昔の清暉園にあった「三宝」の中で唯一保存されてきた宝物である。沐英澗にある8枚でセットになった金片硝子は、中国の国家一級保護文化財と認定された。

所在地：仏山市順徳区大良鎮清暉路23号





潮州古城

潮州古城は粵東地区で最も有名な国家歴史文化名城であり、唐代から建設され、美しい古城風景が出来上がり、「海浜鄒魯（「鄒魯」は文化が盛んな地域を指す）」や「嶺海名邦」などの美名がある。潮州には「三山一水が城郭を囲む」ような自然景観や、世界に名を馳せる「潮州八景（滨江紅棉、広場灯影、坊街亭韻、淡浮水墨、緑島晴嵐、桑浦禅泉、鳳凰天池、柘林漁火）」がある。

所在地：潮州市湘橋区



前美村

前美村には、「嶺南第一僑宅」と称される陳慈黻故居があることで名を知られている。陳慈黻故居は中西兼備の建築風格があり、伝統的な「四馬拖車（4匹の馬車を彷彿させる建築様式）」と洋館建築の意匠を融合させ、亭台樓閣を加えて風景に趣を添え、「小故宮」や「南国大観園」とも褒め称えられており、広東省の省級文物重点保護単位である。前美村には、先祖の陳廷光が清・雍正時代に創建した「永寧寨」という古い集落があり、澄海市現存の貴重な古建築の一軒である。

所在地：汕頭市澄海区隆都鎮

大埔围屋

大埔に来て围屋を見よう！大埔の围屋は世界民居建築の一大奇観であり、その代表例が花萼楼（かがくろう）と泰安楼（たいあんろう）である。花萼楼のデザインは非常に精巧で、構造も独特であり、客家人の円満・団結・平均・平等の生活理念を反映している。花萼楼は広東にある土楼・围楼の中で規模の最も大きい、デザインの最も精美で、最も良く保存されてきた民居古建築であり、「粤東最上鏡土楼（粤東地区で最もきれいに映る土楼）」と評価された。花萼楼は中国中央テレビ局が制作した「客家人」というテレビドラマのロケ地でもある。一般的な円形の客家土楼と違って、正方形になっている泰安楼では、「楼中有屋、屋外有楼（楼の中に屋敷があり、屋敷の外に楼がある）」の独特な風景になっている。

所在地：梅州市大埔県



林寨古村

全国最大の四角楼古建築群を有し、24棟の典型的な客家風格の四角楼がよく保存されてきた。濃厚な文化を秘めた完璧な建築芸術は全国的にもまれである。

古村の外郭は船のような環状になり、東、西、南、北の4つの門がある。門の前には5つの池があり、その両サイドに堀が流れており、村の四周が碧水に囲まれている。古村の中には古巷（路地）、古井、古壁、古道、古寺、古亭、古橋、古樹の「老八古」と呼ばれる文物や遺跡がある。集落の中で最も有名な客家民居は「謙光楼」であり、中華民国九年(1920年)に建造され、現在は「民俗館」として活用されている。集落には粵劇の演出や、龍舟、龍舞や獅子舞、席床生日などの民俗イベントが行われており、典型的な客家文化を体験できる。

所在地：河源市和平県林寨鎮興井村





迎春花市

広州の迎春花市は全国で唯一無二の民俗景観である。

年に1回の迎春花市は旧正月前の旧暦12月28日から旧正月元日の明け方まで、広州市内の八つの花街で行われている。期間中はどの花市に行っても賑やかで大繁盛しており、彩豊かな生花が潮の如く迫ってくる。人々が花を見て、花を話して、花を捧げて、花を運ぶ、まるで花が流れているような奇妙な光景になる。

媽祖誕

旧暦の3月23日は、媽祖様の誕生日である。媽祖は福建、浙江、広東、台湾などの沿海地域で信仰されている海神様である。華僑たちが世界中に移住することにより、媽祖信仰は東南アジアはじめ世界各国に広がっていた（日本にも横浜媽祖廟と東京媽祖廟などがある）。



昔は、潮汕地方の漁師たちは新しい船を出航させる時に、汕頭港媽嶼の「媽祖廟」に行ってお香を頂き、船中に設置された「天后聖媽祖」の香案に供える習慣がある。毎月の一と十五日にお香が供えられ、年に一度の媽祖誕の際にはもっとも厳かな祭祀が行われる。媽祖誕の日には、船主が「五牲」か「三牲」をもって媽祖様を祭り、その後盛大な宴を張って船員たちを招待する。上流からの船が潮州城に近づいたら、お香を供えて媽祖様を祭り、湘子橋を通ることを祈念し、無事通れたら川に向かって爆竹を鳴らし、媽祖様へ感謝を表す。



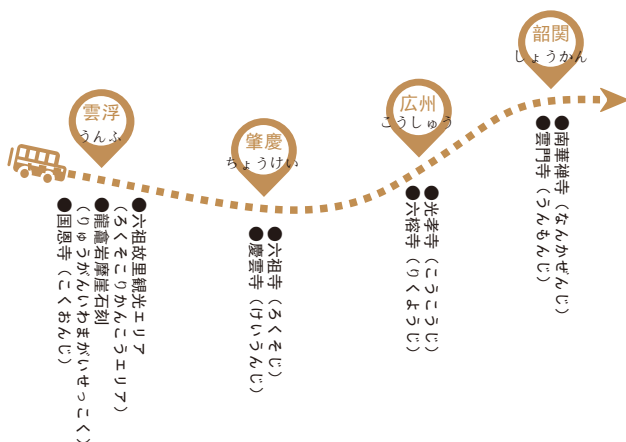


禅の頭陀袋，心の旅立ち

禅宗文化の旅

心を旅立たせる。外の世界への旅行を通じて自分に向き合い、初心に帰り、精神世界の力を発見する。禅の修行みたいな旅行は、喧囂で落ち着かない現代社会ではますます人気になっているが、広東は絶好な場所である。

禅宗は中国で本土化された仏教の宗派であり、菩提達摩から始まり、広東の六祖慧能によって確立された。西暦630年頃、六祖慧能は広東新興から仏を求める道に出発し、悟りを開いた後に、広州の光孝寺にて布教し始め、韶関の南華寺で一家を成した。「一花開五葉、結果自然成（ひとつの花は五弁を開き、やがて自然に実をつける）」のように、禅という中国の本土宗教を築き上げた。





国恩寺

国恩寺は唐代に建造され、嶺南随一の聖域と呼ばれ、広東の省級文物保護単位でもある。

国恩寺は六祖の肉身菩薩の故居であり、六祖が弘法し、「法宝壇経」を編纂し、それに示寂された聖地である。国恩寺は広州の光孝寺と曹溪の南華寺と鼎足し、六祖の三大祖庭と呼ばれる。国恩寺は山に寄り添って建てられた唐代風格の寺院であり、非常に雄大な建築である。境内の主な観光スポットは二十羅漢、仏宝舍利、父母墳等があり、隋唐時代の鍍金素面圈足銅円盒、鍍金提梁水罐、鍍金銅棺、水晶球、それに「五銖」や「開元通宝」の銅銭等の文物も収蔵されており、舍利は舍利殿で祭られている。

所在地：雲浮市新興県六祖鎮龍山山麓

六祖寺

六祖慧能寺，元の寺院は唐代に建造され，1300年余りの歴史を持つ。

寺院は四面から険しい山に囲まれ，景色が美しい。六祖慧能寺の隣の山間には，「六祖慧能池」、「仏堂頂」、「仙人路」、「爛布衣」など六祖慧能の行方や逸事に関わる地名や山名がある。2001年に，新しい六祖慧能寺が落成した。

所在地：肇慶市四会貞山風景旅遊区内



慶雲寺

慶雲寺は明代に建設され、清・光緒時代に大規模な修繕が行われた。慶雲寺は広東の四大名寺の一つでもある。

慶雲寺は蓮花庵をベースとして増築された寺院であり、規模が非常に大きい。東洋の建築芸術の独特な風格を体現し、素朴で宏大、荘厳で雅やかな寺院である。境内には舍利子、千人鍋、大銅鐘、白茶花樹、平南王大法座などの様々な文物や遺跡がある。

所在地：肇慶市鼎湖山天溪山谷





六榕寺

六榕寺は光孝、華林、海幢寺と並べ、広州の四大禅林と呼ばれる。六榕寺は梁代の大同三年（西暦537年）に建造され、境内には宝塔が高くそびえ立ち、草木が鬱蒼としており、様々な文物が集まっており、たくさんの有名人が足跡を残した。寺院の榕蔭園には六祖堂、観音殿、僧捨齋堂などがあり、六祖堂には生き生きとした六祖慧能の銅像が祀られている。

所在地：広州市越秀区六榕路





光孝寺

光孝寺は1700年余りの歴史を持ち、西漢南越王趙佗の玄孫である趙建徳の屋敷であった。光孝寺は嶺南地域で歴史が最も長く、影響が最も深く、規模が最も雄大な寺院である。

光孝寺は建築外観が謹厳で、殿宇が雄大で壮観である。境内には南朝達摩開鑿の洗鉢泉、唐代の瘞髮塔、石經幢、南漢時代の千仏鉄塔、宋明時代の六祖殿、臥仏殿、それに碑刻、仏像、訶子樹、菩提樹等文物や史跡が多くあり、いずれも貴重な宝物である。

所在地：広州市光孝路109号





南華禪寺

南華禪寺は南華寺とも呼ばれ、南北朝梁武帝天監元年（西暦502年）に創建された。南華寺は禅宗六祖慧能が「南宗禅法」を弘法した地であり、中国の仏教名寺と国家重点寺院の一つでもある。

境内の「六祖真身像」は南華寺の最も貴重な文物であり、六祖殿の中で祀られている。「木彫五百羅漢造像」は中国国内で現存する唯一の宋代の木彫五百羅漢群像である。また、唐中宗から六祖慧能に賜った唐代の「伝世刺繍千仏袈裟」や、武則天聖旨、唐代の花緞襪、六祖墜腰石、唐代鉄質観音殿、天人像、釈迦像、明代の四大天王木彫、清代の五百羅漢磁瓶、明代の金書「華嚴経」端本などの文物も保存されている。

所在地：韶関市曲江県



雲門寺

雲門寺は広東省の省級文物保護単位並びに省重点寺院であり、仏教雲門宗の発祥地として1000年以上の歴史を持つ。

雲門寺は前殿、大雄宝殿と観音閣の3部分から構成され、南から北へ一直線に並んでいる。雲門寺の建築は荘厳、質素で上品であり、嶺南の美しい風格を備える。前殿は山門にもなり、その右側に龍王廟、左側に土地祠が建てられた。大雄宝殿の釈迦様の前に、純粋なマンマー漢白玉（純白色の大理石）で作られた一立一臥の2体の仏像があり、生き生きした姿が非常に印象的であり、雲門寺の珍宝と言われる。殿内にある三面の壁には長さ24メートル、高さ4メートルの大型色付き磁器壁画があり、中国の寺院の中で唯一無二のものである。

所在地：韶関市乳源瑶族自治県乳城鎮





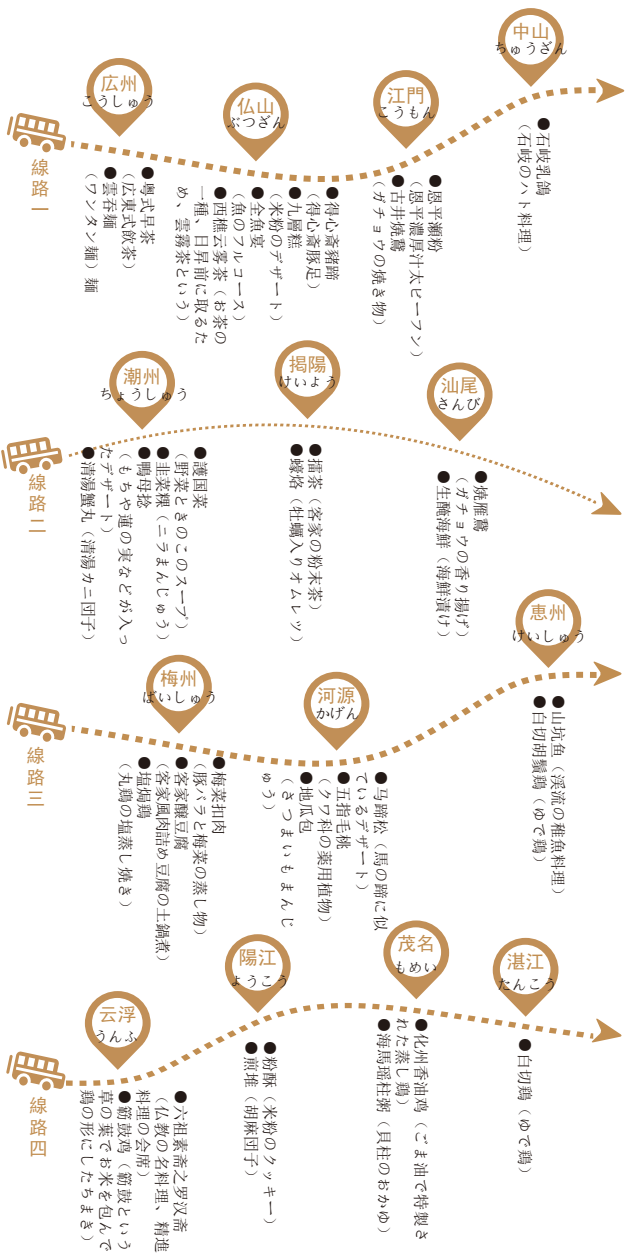


広東では箸こそ止まらない

美味美食の旅

「食在広東（食は広東に在り）」、広東に来て美食を満喫しなければ必ず残念な旅になる。広東料理は「粵菜」と呼ばれ、中国の八大菜系（8大料理系統）の一つとして、独特な調理法と風味によって、国内外からの旅人の味覚を征服している。粵菜は主に広州、潮州、東江との3つの系統から構成される。広州料理は広東料理の代表格であり、食材が非常に豊富で、すべてのものが食材にできるように思われる。代表的な料理は烤乳猪（子豚の丸焼き）や龍虎鬪（ヘビ肉とネコ肉の煮込み）等がある。潮州料理は閩南料理（福建省南部の料理）に近く、海鮮物の調理に長ける、魚露、沙茶醬、梅羔醬、姜酒などの調味料を活用している。潮州料理では打冷という夜食が最も特色がある。潮州の代表的な料理は糯軟肥厚獅頭鷺（ガチョウの滷味料理）、熱鍋薄殼（あさりの炒め物）、香煎蠔仔烙（牡蠣入りオムレツ）などがある。東江料理は客家菜とも呼ばれ、主食材の存在を強調し、濃厚な味付と素朴な造形が特徴である。代表的な料理には塩焗鷄（丸鶏の塩蒸し焼き）、梅菜扣肉（豚バラと梅菜の蒸し物）、猪肉湯（豚肉スープ）等がある。

広東はグルメや食通、それに食いしん坊を大歓迎する。広東に来たら、何が止まっても、お箸と口は絶対止まらないのである。



粵式早茶（広東式飲茶）

粵式早茶にはお茶だけではなく、点心も含まれている。広東人にとっては、茶楼が親族や友人の集会からデートや商談まで、すべてのシーンをカバーするところである。

「一盅两件」は広東人が早茶（朝の飲茶）をする際の習慣であり、一人に一種類のお茶と2種類の点心を注文することを指す。人数が多ければ、その人数分を注文してみんなでシェアする。お茶はプーアル茶、ジャスミン茶、ウーロン茶、鉄観音などがあり、点心は海老餃子、腸粉、チャーシューまん、大根もち、シューマイ、糯米鶏、豉汁もみじなど、種類が数えきれないほど豊富である。特に海老餃子は、中国北部の水餃子より繊細で滑らかな食感を持ち、早茶の定番とも言われる。また、豚肉、干しエビ、貝柱、干しイカ、干し魚、油條などから作られた荔湾艇仔粥も絶品である。すべての点心にはそれぞれの特色があり、ぜひ色々食べてみてください。

お店探し

広州酒家（本店）

（こうしゅうしゅかほんてん）

場所：広州市荔湾区文昌南路2号

陶陶居（とうとうきょ）

場所：広州市荔湾区第十甫路20号

点都德（聚福楼）

（てんととく、しゅうふくろう）

場所：広州市惠福東路470号





雲吞麵（ワンタン麵）

雲吞麵（ワンタン麵）は広州発祥の美食であり、餛飩麵、細蓉、大蓉など様々な別称がある。ワンタン麵の麵はタンメン（湯麵＝スープ麵）とローメン（撈麵＝和え麵）の2種類があり、いずれもコシがあって歯ごたえがある。ワンタンの餡はエビと豚肉で作られて、タンパク質などの栄養物質が多く含まれる。

お店探し

宝華麵店

場所：広州市荔湾区宝華路117号

巧美麵家

場所：広州市越秀区惠福東路401-403号



九層糕（九層もち）

祝日や節句になると、特に春節には、仏山の人たちは必ず家で九層糕を作る。「九」は「久」に因んで、「永遠に昇進する」との寓意があり、縁起の良いデザートとされる。九層糕は丁寧に作られた甘い餅料理である。お米を水で洗い、石臼で米粉にして、砂糖水を入れて混ぜると原料となる「水粉」になる。銅製の円盤に水粉を塗り、蒸した後にもた水粉を重ね、このような繰り返りで層がはっきり区切る九層糕が出来上がる。

得心齋豬蹄（得心齋豚足）

仏山の豚足は2種類の作り方がある。一つは豚足丸ごと煮込むこと；もう一つは豚足を捌いて、骨と硬い筋などを取り出して、その代わりに豚バラとローズを入れて煮込むことである。後者は水草で具材を縛るため、「扎蹄」とも呼ばれる（「扎」＝縛る）。



恩平瀬粉（恩平ビーフン）

瀬粉は恩平地区の特殊なビーフン料理であり、お米からできた米粉にお湯を混ぜてできた長めのビーフンである。

簡単に混ぜると言っても、実は瀬粉の加工が非常に難しく、原材料の選別から加工まで、何段階の手順を踏まないといけない。そのため、瀬粉の製造は一人ではなく、地元の総力を結集してからできることである。中秋節（旧暦八月十五日）には、恩平北部の地域は瀬粉を主食とする。食べ方も簡単で、瀬粉を湯通しして、上湯（高級食材から取ったスープ）と合わせると完成である。また、瀬粉に調味料として砂糖やお酒を入れると風味がまた変わる。

古井焼鷺（古井のガチョウ焼き）

古井焼鷺は新会の名産物であり、南宋の宮廷レシピに基づいて作られたと言われている。古井焼鷺は色・香り・味がすべてよく、皮がサクサクで肉汁がうまうま、肉は香ばしくて甘みもつき、料理として大人気である。生抽王（高級生醤油）、砂糖、塩、お酒、にんにく、五香粉（混合香辛料の一種）、それに他の秘伝調味料を混ぜたものをガチョウの中に詰め込み、紐でしっかり縛り、麦芽糖でガチョウの外側を塗った後に炉に入れ、ライチの木からとった薪で約40分間焼いて出来上がる。



お店探し

平香焼鷺（天成街店）

場所：江門市古井鎮天成街136号



石岐乳鴿（石岐のハト料理）

石岐乳鴿は中山の名物小吃（シャオチー，手軽な一品料理）である。この種のハトは体格が大きいわりに肉が柔らかく，ムネ肉が特に厚い。石岐乳鴿は食材の名前でもあり，紅焼乳鴿、松江乳鴿、油浸乳鴿、白切乳鴿など様々な料理ができる。また，ハトは漢方薬材として活用されており，肺と腎臓の病気や，皮膚病の治療にも役立つ。

お店探し

石岐佬中山菜館

場所：中山市康華路36号

🍳 蠔烙（牡蠣入りオムレツ）

潮汕地方のレストランや屋台では「蠔烙」という小吃がよく売られている。水に溶けた芋粉とネギを混ぜてフライパンに敷き、牡蠣とたまごを加え、両面焼きして出来上がり、魚露（魚を発酵して作った調味料）につけて召し上がる料理である。「西天巷蠔烙」は汕頭で最も有名な小吃である。牡蠣は美味しく、目に良いとも言われる。蠔烙は胃を温めることもでき、冬の大好物とされている。

🍳 お店探し

胡荣泉

場所：潮州市太平路136-144号

老鄭蠔烙

場所：潮州市水平路17号



鴨母捻（蓮の実などが入ったもち団子）



鴨母捻は「湯円」という中国の伝統的小吃のバリエーションであり、もち米の米粉から作られている。メスカモ（母鴨）が水上で遊ぶ姿に因んで命名されたものである。伝統的な鴨母捻にはこだわりの作り方があり、餡は緑豆、あずき、いも、ゴマ餡の4種類から選び、一粒ごとの餡は約15グラムである。鴨母捻は砂糖水で茹でて、水面上に浮かんで来たら出来上がる。元宵節（旧暦正月十五日）に食べる料理なので、「元宵」との別名もある。



擂茶（客家の粉末茶）

掲陽の客家人は擂茶を飲む習慣があり、「淨茶」、「菜茶」、「飯茶」、「米骨茶」等様々な種類がある。春節（旧正月）の間には、「米呈」という小吃と一緒に飲む「米呈茶」、旧暦正月七日には「七様菜茶」、それに旧暦正月十五日（元宵節）には「十五様菜茶」など、様々な種類がある。

烧雁鶩（ガチョウの香り揚げ）

烧雁鶩は潮汕の特色料理であり、美味で嶺南地区に広く食べられている。食材は昔野生の雁だったが、現在は似たような味と食感を持つガチョウを使用している。一番良いとされる食材は潮汕の「獅頭鶩」という品種。出来上がったガチョウは皮がサクサクで肉が柔らかく、甜麵醬と一緒に食べるととても濃厚な味わいになり、ビールには最高の肴になる。

清湯蟹丸（清湯カニ団子）

清湯蟹丸は潮汕の名料理であり、団子は香味が抜群で食感が柔らかく、スープも濃厚で美味しい。この料理も薬膳効果があり、結核病と関節炎のリハビリや活血化瘀（瘀血を解消し血行を改善する）に効果があり、腎臓にも良いと言われている。また、魚介類の団子は潮州料理の特色であり、カニの他にエビ、イカ、貝肉などからも作られている。



塩焗鶏（丸鶏の塩蒸し焼き）

塩焗鶏は広東の客家料理の看板メニューであり、深圳、惠州、河源、梅州などの地に流行している。塩焗鶏は300年前に発明された料理であり、最初は惠州東江の海塩工場の労働者たちが食べ物を保存するために偶然発明したと言われる。塩焗鶏は色鮮やかで、鶏肉の旨味と調味料の香ばしさが絶妙に融合し、柔らかい食感を持つ上品な一品である。冬に鶏肉を食べるのは脾臓や胃を温める効果もあると言われている。

お店探し

金鵬国際酒家

場所：汕尾市海豊県広富路666号

大好彩酒店

場所：汕尾市二環南路

万秋楼

場所：梅県新城辦事処扶外村
98号（新城加油城の近く）





梅菜扣肉（豚バラと梅菜の蒸し物）

梅菜扣肉は「咸烧白」とも呼ばれ、客家料理の名料理でもあり、広東梅州のものが最も代表的である。

この料理は旨味が抜群で、肉の食感が非常に柔らかく、脂身が多いのにしつこくはない。「梅菜」という野菜の漬物のおかげで清々しい香ばしさが引き立て、角煮の味と互いに補完し、いくら食べても飽きがないほどである。肉と野菜はそれぞれの特性が調和され、「気を正す」料理として有名である。この料理の素材は梅菜、松の実と豚バラのみで非常にシンプルだが、梅菜が豚バラの脂を吸収し、豚バラには梅菜と松の木の香りがつき、実に絶妙な組み合わせである。





海に関する全ての精華がここにある

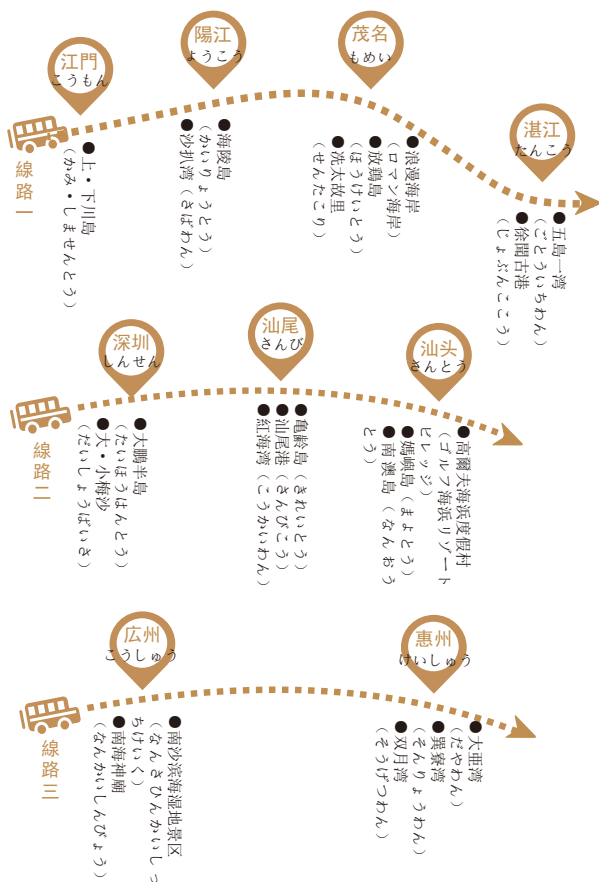
ロマンチックな海浜の旅

広東は、中国大陸最長となる4114キロの海岸線と1400の島々、それに中国最も綺麗な藍色を有する。江門の的上・下川島には碧海、青空、それにうっそうとした椰子林があり、典型的な海風景となる。茂名のロマン海岸には海とビーチの絶景があり、モルディブのような美景と、世界最長のビーチとギネス世界記録に認定された「十里銀灘」を満喫できる。放鷄島には全国初めての潜水水泳基地があり、揭陽の神泉海浜は国内で蜃気楼を観測できる三ヶ所のうち一つである。湛江は中国唯一の海湾型の海岸観光都市であり、特呈島には桃源郷のような紅樹林がある。徐聞の的灯楼角は中国大陸の最南端を見守って、雄大な南中国海を俯瞰している。

「海上生明月、天涯共此時（海上に明月が上がり、遙か遠くにいる人々は時を同じくして眺めている）」、広東の青い海はラブストーリーをはじめ、様々な物語を語っている。陽江の海陵島は海上シルクロードの歴史の立会人であり、珠海の伶仃洋（「零丁洋」とも呼ばれ）は文天祥の「正気歌」を綴っていきおり、中国初の海上歌劇院「日月貝」もここに生まれた。深圳の大小梅沙は老舗の海浜観光地であり、世代を跨った楽しい記憶を刻んでいる。汕尾の紅海湾遮浪半島には「東が荒波で西が静か」との奇観がある。惠州には海亀湾、それに汕頭の南澳島は海洋生物の繁殖地として有名である。茂名の博賀漁港は伊勢海老、車えび、ナマコ、スズキ、カニなど多くの海産品を取り扱い、全国最大の食用クラゲの養殖基地でもある。

海に関する精彩は全て広東にある。広東の海はあなたを待っている。南沙郵輪母港（クルーズ船ターミナル）の「雲頂夢」号、太子湾郵輪母港の「銀影」号があなたを待っている。東澳島にある世界トップレベルの海浜原生態（エコロジー）リゾートホテルClub Medがあなたを待っている。広東の海鮮料理があなたを待っている。

絢爛な海岸は、紺碧の広東にある。







南海神廟（なんかいしんびょう）

南海神廟は長い歴史を持ち、中国古代の海神廟の中で最も完全に保存され、規模の最も大きい建築群であり、西漢時代以来広州から発祥した海上シルクロードの重要な立会人でもある。

神廟には南海神祝融の彫像が祀られ、門前には「海不揚波（海に波が立たず）」との石門がある。境内には韓愈碑、明洪武碑、康熙「万里波澄」碑等45の石碑があり、神廟は「南方碑林」とも呼ばれる。また、境内には漢代と明代の銅鼓と鐘、それに南海神玉印等の重要な文物が保存され、百歳以上のキワタノキとアカシアが神廟の周辺に点在している。ここに保存されている漢代の銅鼓は中国現存の3大銅鼓の一つである。神廟の西側に「章丘」と呼ばれる小さな丘があり、昔は海上のご来光を拝む地であり、浴日亭という質素で伝統的な建物がある。

所在地：広州市黄埔区南港鎮廟頭村



上・下川島（かみ・しませんとう）

台山に位置する上川島と下川島はハワイの緯度とほぼ同じ、風景もハワイのように美しく、「東洋のハワイ」と呼ばれている。

両島は隣りあい、地理環境が独特で、濃厚な嶺南民俗文化と綺麗な海洋風情を兼ねながらも、神秘的な財宝伝説も伝わっている。ここに最も素敵な海水浴場は南澳湾の王府洲リゾートゾーンであり、1600メートル余りの長いビーチと登高石、音響石、龍床などの奇石風景、それに「七星伴月」や「海風椰韻」などの景色がある。精細な砂からできた天然ビーチ、秀麗な海湾と神秘的な遺跡、鬱蒼とした原生林、爛漫と咲く山花、彩りの蝶々と響き渡る鳥の鳴き声、それにたおやかな離島や天然の良港、これら全ては、上・下川島でしか満喫できない素敵な景観である。

所在地：江門台山市川島鎮





海陵島（かいりょうとう）

海陵島は「南中国沿海の明珠」であり、「日光・砂浜・海を完璧に融合した」と高く評価され、中国の最も美しい島10選に選ばれている。

海陵島の最も注目すべきところは「水晶宮」とも呼ばれる広東海上シルクロード博物館である。館内に陳列されている「南海一号」は中国の海洋考古領域の重大な発見であり、兵馬俑と匹敵するほどの価値がある。博物館のほかに、大角湾、馬尾島、十里銀灘、金沙灘の4大海水浴場も海陵島の人気スポットである。そのうち大角湾は中国の国家4A級観光地である。これらの観光エリアではそれぞれにサーフィング、モーターボート、ラクダライド、ビーチクルーザー、パラグライダー、騎馬体験、ビーチサッカー、ビーチボールバレー、それに様々なパフォーマンスを楽しむことができる。

所在地：陽江市海陵島閘坡鎮



浪漫海岸（ロマン海岸）

浪漫海岸リゾートゾーンは東南アジアの建築意匠と「愛とロマン」をテーマとした観光地であり、広東省初の5.3キロのプライベートビーチを持つ海浜リゾートゾーンである。

浪漫海岸リゾートゾーンは海と山の上に位置し、険しい山、奇石、椰子林、キラキラのビーチ、海湾、島嶼、漁港などの自然・人文的観光資源を持つ。近年は浪漫海岸リゾートホテル、浪漫海岸海鮮城、愛海銀灘、特産品ショッピングストリート、海上観光船基地、ブライダル撮影基地、椰林キャンプ場、龍頭山湿地花海、サバイバルゲームクラブ、松林BBQ場など、様々な観光施設が開発され、楽しい旅行が一年中できる。

所在地：茂名市電白区博賀鎮龍山尖崗管理区海辺



徐聞古港（じょぶんこう）

徐聞古港は中国大陸の最南端に位置し、「東洋のトスカーナ」と呼ばれ、海上シルクロードの重要な出発港である。徐聞古港には由緒のある歴史、豊富な自然資源、幽雅な自然風景、それに独特な民族風情がある。

漢代の古港生活遺跡は細長く分布し、ここからは「万歳」瓦當、乳点紋瓦版、縄文瓦版、亀紐「臣因私印」、陶器など、漢代から清代までの文物が出土された。三つの島が並べ、徐聞古港の門戸にもなる。五里郷仕尾村北仕尾嶺の断崖における八卦航標灯座は、海湾から10メートルもなく、天然の巨石を彫って作られたものである。灯座は八角形で、直径2メートル、深さ40センチ、8つの角には八卦紋で飾られ、典型的な漢唐時代の航標灯座である。

所在地：湛江市徐聞県

郵輪旅遊（クルーズ船の船旅）

自然の海岸線によって作られたベイエリアが「大湾区」の先決条件であり、粵港澳大湾区はもちろん例外ではない。中国にある杭州湾、長江デルタ、黄河河口、環渤海エリアは珠江デルタにやはり及ばない。クルーズ船の船旅は、中国で最近流行り始めたハイエンドツアーとして、粵港澳大湾区のような海洋資源に恵まれた地域では独特な訴求力があり、将来もきっと破竹の勢いで発展していくだろう。





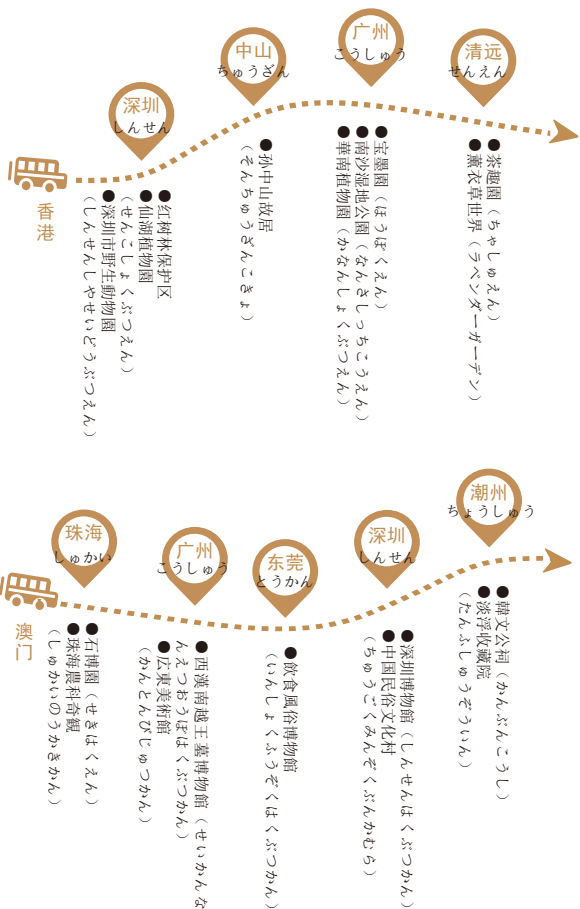


嶺南に行って知ること，それに遊んで学ぶこと

広東への遊学の旅

修学旅行は中国の各地でますます流行になっており、「旅」を改めて定義した：旅行はただの旅ではなく、人生の勉学でもある。そこで、「読万卷書、不如行千里路（万卷の本を読むのは、千里の道を歩むのに及ばない）」ということわざで言われたように、中華文化の伝統に基づいた新しい旅のスタイルが形成してきた。

広東は修学旅行の素敵な目的地である。雄大な山水を見物した場合は、様々な地形を知り、地理的知識を得ることができる。例えば丹霞地形の由来となる韶関の丹霞山、典型的なカストル地形となる連城の地下河、層状地形の広東大峽谷などがある。亜熱帯の植物を見学する場合は、華南植物園と南沙湿地公園は良い選択肢になる。また、中国の近代史において広東は唯一無二の重要性があり、万木草堂は広府人の歴史の立会人であり、アヘン戦争博物館は中国近代史の幕開けを見守っていた。





蓮花山（れんかざん）

蓮花山エリアには麒麟峰があり、その頂上に蓮の花のような岩があり、それに因んで人々はこの山を蓮花山と呼ぶことにした。

蓮花山は48の赤い砂岩の低山から構成され、標高108メートルであり、2.54平方キロの面積を有する。蓮花山石景区は「大自然と匹敵できる」人造奇石で名を知られている、国内唯一で「人工丹霞」を作った奇跡の観光地である。蓮花山には蓮花塔や蓮花城などの名所旧跡があり、すべて広東の省級文物保護単位に指定された。

所在地：広州市番禺区東部珠江口獅子河畔



大鵬半島（たいほうはんとう）

大鵬半島は広東省の中南部、深圳市の東南部海岸にあり、大鵬湾と大亜湾の間に位置する。大鵬半島は北半島、南半島、それにその間の接続地帯から構成され、ダンベル状になっている。

大鵬半島は海拔700~800メートルの山地的半島であり、大鵬半島ジオパークの地質遺跡保護区は56.3平方メートルの範囲に及ぶ。半島の景観は古火山と海岸地形を特徴とし、山、海、林、空の立体的な景観で、「幽・秀・奇」という独特な魅力を見せ、国之の至宝だと評価されている。

所在地：深圳市龍崗区





連州地下河（れんしゅうちかがわ）

連州地下河は典型的な亜熱帯カストル地形であり、天然の石灰岩鍾乳洞である。洞内の気温は年中通して18℃となり、冬が暖かく夏が涼しい。空気がフレッシュで、観光と避暑に最適である。

連州地下河は2億年前の造山運動により、海底の鍾乳洞が上がり、地上の鍾乳洞となった。その最も特徴的なのは上下3層に分けられた鍾乳洞と地下河であり、天然の洞口が広くて雄大で、中にいると「別有洞天（別に天地あり）」との名言を実感できる。

所在地：連州市東陂鎮大洞村



仙湖植物園（せんこしょくぶつえん）

仙湖植物園には綺麗な自然的風景、格別な園林建築、それに神秘的な植物王国がある。

全園は6つの観光エリアに分けられ、独特な特色がある古生物博物館も併設している。園内に8000種類あまりの植物が保存され、蘇鉄（ソテツ）保存センター、木蘭（モクレン）園、珍稀樹木園、棕櫚（シュロ）園、竹区、蔭生植物区、砂漠植物区、百果園、水生植物園、桃花園、裸子植物区、盆景園等10数個の植物専門園が設けられている。

所在地：深圳市羅湖区蓮塘仙湖路160号





華南植物園（かなんしょくぶつえん）

華南植物園は中国で歴史が最も長い、種類の最も多い、面積が最も大きい南亜熱帯植物園であり、全国三大植物園の一つでもある。

園内には国内外から11000種類以上の熱帯・亜熱帯植物が集まり、絶対に幕を下ろさない「万国奇樹博覧会」や、「中国南方のエメラルド」などの美名がある。園内にはサバイバルゲームクラブもあり、亜熱帯のジャングルで刺激的なゲリラ戦を満喫できる。

所在地：広州市天河区天源路1190号







广东美术馆（かんとんびじゅつかん）

广东美术馆の建築面積は2万平方メートル以上、館内には12の展示室と室外彫刻展示区があり、大規模な展示会やテーマそれぞれの展示会を一括に、もしくは各自で開催でき、多目的芸術交流施設と緑化区ゾーンも併設している。广东美术馆には中国近現代の美術作品と海外華人の美術作品が收藏され、收藏品は絵画、彫刻、陶芸作品をメインとする。質素、上品なインテリアで、展示品の存在を主張している。

所在地：広州市越秀区二沙島煙雨路38号

淡浮收藏院（たんふしゅうぞういん）

淡浮收藏院は潮州新八景の一つであり、タイの潮州籍華僑の首領である郭豊源さんにより提唱・建造され、自然景観、建築景観、文化景観を融合させ、文化財の收藏、文化交流と観光などの目的を兼ねた文化的観光施設であり、現代の潮州の独特な文化的ランドマークでもある。淡浮收藏院の中にある大きな石門には「東粵精華（東粵精華）」との4文字が書き記されており、両側には「金聲」と「玉振」が書かれて、全て中国の国学泰斗となる饒宗頤先生の真筆である。

所在地：潮州市紅山林場硯峰公園内







嶺南千年の変遷の立会人

南粵古馭道の旅

古馭道は是中国古代の陸地交通における主幹通路であり、重要な軍事施設でもある。軍糧や軍用物資の運輸や、軍令と軍情の伝達などにも使われる。広東省内では数多くの古馭道遺跡が保存され、歴史的には中原の漢人が粵の地に入り、嶺南で貿易活動を従事する重要なルートであり、内地、嶺南と海外を繋ぐ重要な紐帯でもある。南粵の古馭道は南粵歴史上の重要な出来事、重要な歴史人物と経済文化面の出来事の立会人でもあり、国と民族と密接に繋がる歴史的記憶であり、南粵文化の根源の所在でもある。

南粵古道を活かし、歴史文化の遺跡を大切にし、馭道の物語を伝承させるために、広東は2018年に18本の「南粵古馭道重点線路精華段」を打ち出した。古馭道を歩きながら、歴史の息吹きを味わったり、馭道独特の美しさを体験したりするのは、広東を理解し、広東への愛着を覚えるための重要な手段である。18の「南粵古馭道重点線路精華段」は広州、珠海、韶関、河源、梅州、惠州、汕尾、中山、清遠、潮州等の地域に点在し、全長は165キロに及ぶ。





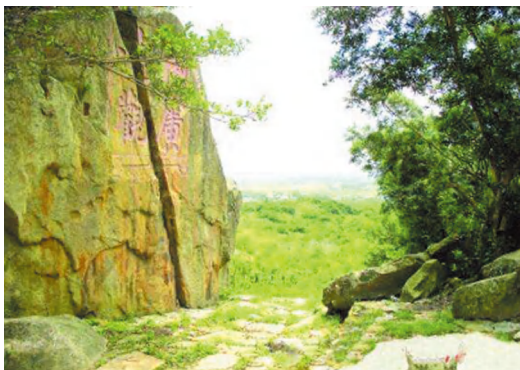


從化古道精華段

從化古驛道は錢崗古村から始まり、知青村古道を終点とし、全長9.19キロあり、北江古驛道の「南雄-広州」古驛道の一部となっていた。そして、長い歴史の間に郵便、交通、貿易の重要なキャリアとなり、嶺南の歴史文化の発展においては重要な役割を果たした。雰囲気のある錢崗古村は宋代に建造され、いままで800年余りの歴史を持ち、從化県の設立よりも200年早いと言われる。そのため、「從化よりは錢崗が先にあった」との説があり、ここでは豊富で完全なる歴史的保留物が残っている。そのうちの中国の全国重点文物保護単位とされている広裕祠は、確かな時間記録により、歴史の専門家に「中国の明代から社会主義の新時代までの断代史」や「嶺南建築歴史の標尺」と高く評価され、極めて高い歴史的価値がある。

沿線の重要な観光スポット：三坑口問路石、靈秀牌坊、広裕祠、陸煒故居、陸氏宗祠、太平鎮錢崗村蘭集堂、太平鎮錢崗村東向棚庁、紅石村江氏宗祠

路線：广东省広州市從化錢崗——知青村古道



汕尾海豐羊蹄嶺—惠州惠東高潭古道（惠東精華段）

汕尾海豐羊蹄嶺—惠州惠東高潭古道は古代粵東地区と珠江デルタ地区の交流のための重要な通路であり、そのうち惠東段の所在地は革命老区（中国共産党革命根拠地）であり、豊富な赤色観光資源（共産党の歴史に関わる観光地）がある。例えば、沿線の中洞村は東江の革命歴史では「東江紅都」と呼ばれ、全国で最も早い区級の蘇維埃（ソビエト）政府の所在地であり、伝統的な教育基地にもなった。惠東精華段は全て馱道本体であり、山地型の馱道として他の接続路線がなく、途中は中洞村と黄沙村を經由する。馱道本体は自然の中にある山間の小道であり、景色がとても綺麗である。砵仔飯、湯粉などの惠東の名物料理も是非味わいたい。

沿線の重要な観光スポット：連生度假村（リゾート村）、中洞村

路線：広東省惠州市惠東県高潭鎮連生度假村（リゾート村）——中洞村半坑村小組紅軍路入口



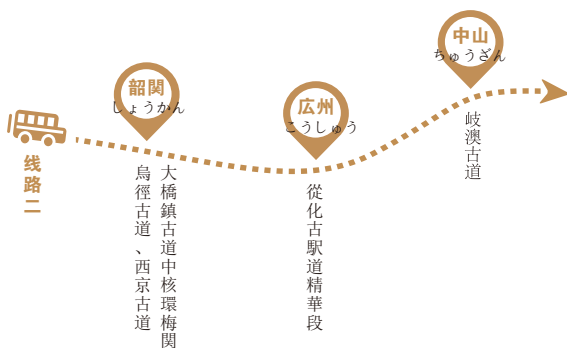


梅関-烏徑古道精華段

梅関古道は唐代開元四年（西暦716年）に開設され、唐代の名相張九齡によって建造され、古官道「京広駈道」の中の唯一の陸路として、歴史上は重要な交通の役割を果たし、古代「海上シルクロード」の陸路ランドマークと呼ばれる。烏徑古道の開通は梅関古道よりも早く、南北を貫通し、江南と閩西を繋ぎ、中原と嶺南を接続する陸路・水路兼備の交通要路である。

沿線の重要な観光スポット：珠璣古巷、鳳凰橋、208郷道、里東古街、靈潭駅、角湾村、中站古村、泰源村、梅嶺村、梅関古道観光エリア

路線：広東省韶関南雄市珠璣鎮聡輩虎踞橋—梅関関楼







3

粵港澳大湾区の旅

広東香港澳門ベイエリア 世界経済と旅行の新しい代表



世界経済の地図を見たら、ニューヨーク、サンフランシスコ、東京湾、この三つのベイエリアは世界で最も発達し、最も代表的な経済区域で、世界中の海洋経済の命脈を握っていると分かるだろう。一方で、広州、深圳、珠海、仏山、惠州、東莞、中山、江門、肇慶の9都市と香港、マカオの2つの特別行政区からなる粵港澳大湾区は、ニューヨーク、サンフランシスコ、東京の次に、世界経済を牽引する最も可能性のあるベイエリアになるだろう。

粵港澳区の経済は重要な海洋経済形態として、粵港澳を率いて世界の舞台で競争する重要な使命を持っている。

粵港澳大湾区の良いところは経済だけではなく、豊富な観光資源も特筆すべきである。亜熱帯の温暖湿潤気候帯に位置し、一年中心地よい気候と優美な環境に恵まれ、この独特な地理的条件で多くの観光客を魅了している。例えば世界中に名を馳せる香港海洋公園、特色のあるザ・ベネチアン・マカオ、観光文化をリードする広州長隆度假区、鵬城（深圳の別称）の観光地を代表する深圳東部華僑城などはすべて粵港澳大湾区の人気スポットである。自然の海岸からできたベイエリアとしては、粵港澳大湾区が多くの「海浜観光」資源を持ち、国内海洋観光の重要な中枢にもなった。

粵港澳大湾区は、新しい観光旅行のブランドで、世界レベルの旅行トレンドを牽引しようとしている。



粵港澳大灣區觀光ルートセレクション

●線路1 グルメツアー（4泊5日）

1日目：香港（山頂、尖沙咀、香港文化センター、アベニュー・オブ・スターズ、鯉魚門）

2日目：香港-仏山（祖廟、嶺南新天地、長鹿旅遊休博園）

3日目：仏山-珠海（横琴長隆国際海洋リゾート）

4日目：珠海（情侶路）-マカオ（望德堂坊文創園区、龍環葡韻、官也街、氹城リゾート、米芝蓮スターレストラン）

5日目：マカオ（マカオ十六浦3D奇幻世界、ワイン博物館、漁人埠頭）-香港

●線路2 古代文化ツアー（5泊6日）

1日目：香港（香港レストラン、天壇大仏、宝蓮禪寺、大澳島）

2日目：香港-深圳（錦繡中華、民俗村）-潮州（潮州古城牌坊街、甲第巷民居）

3日目：潮州（開元寺、広濟橋、韓文公祠）-汕頭（陳慈黉故居、南澳島）

4日目：汕頭（汕頭開埠文化陳列館、汕頭小公園、汕頭大学、北回帰線タワー）-揭陽（揭陽樓、揭陽学宮、玉都陽美）

5日目：揭陽-マカオ（海事博物館、媽閣廟、阿婆井前地、鄭家大屋、マカオ博物館、天後宮）

6日目：マカオ（ショッピング）- 香港

●線路3 ジオパーク・世界遺産の旅（5泊6日）

1日目：香港（山頂、淺水灣、赤柱、香港仔、南丫島）

2日目：香港（西貢火山岩園區糧船灣）

3日目：香港-深圳（高速鉄道に乗換）-韶关（丹霞山）

4日目：韶关（南華寺）-広州（高速鉄道に乗換）-江門（五邑華僑華人博物館、開平碉樓群）

5日目：江門-珠海（陳芳故居）-マカオ（マカオ歴史地区）

6日目：マカオ（東望洋灯台、科学館、マカオ観光塔、360度回転レストラン）- 香港

●線路4 文化歴史の旅（4泊5日）

1日目：香港（黄大仙祠、港島中区、SOHO荷南美食区、中環蘭桂坊）

2日目：香港-マカオ（マカオ国父記念館、大三巴牌坊、草堆街80号、孫医館原址、媽祖閣、百老匯大街）

3日目：マカオ-珠海（情侶路、円明新園、陳芳故居）-中山（中山市区、嶺南水郷、孫中山故居）-広州（長隆大サーカス）

4日目：広州（黄花崗七十二烈士陵園、中山記念堂、広州塔、広東省博物館、海心沙公園）- 香港（各国美食を満喫）

5日目：香港（ショッピング）

●線路5 海浜風光の旅（3泊4日）

1日目：香港（大澳紅樹林、大白湾沙灘、榆景湾）

2日目：香港-陽江（海上シルクロード博物館、大角湾海上樂園、海陵島）

3日目：陽江-マカオ（マカオ歴史城区、海事博物館、黒沙海灘、マカオ観光塔）

4日目：マカオ-香港（ショッピング）



香港（ほんこん）

ダイナミックな国際的大都会

香港はアジア屈指の国際的大都会であり、ダイナミックな活力や、多元的で東洋と西洋を融合させた文化は、香港という国際都会の独特な魅力である。ショッピング、グルメ、観光、独特な文化・伝統や祝祭日、それに新しいパフォーマンスショーやハイキングなど、世界各地からの旅人に唯一無二の体験をもたらすことができる。

香港の独特なところは、新と旧の並存、中と西の融合、それに動と静の兼備、これらの対立的な調和は観光客に新鮮感を与え、旅中でいつでも無限の楽しみを実感させる。ショッピング、美食、芸術、娯楽、ナイトライフ、生粋の文化、中国と西洋の祭日やお祝い、これらのイベントを一年中に楽しむことができる。名物のピクトリアハーバーの風景、その背景となる山並み、ビーチや小さな離島、どちらも素敵な風光である。数えきれない楽しさは、リピートする香港旅行の醍醐味であり、何回もこのアジア国際都会に来たい理由にもなる。

ここでは、いつでも新しい驚喜が待っているよ！

名産物

恒香老婆餅、麼鳳話梅王、陳意齋燕窩糕、手工雞蛋捲（手作り卵クリスピーロール）、熊仔朱古力（くまチョコ）、天山核桃王（天山胡桃王）



澳门（マカオ）

中西が融合する夢幻の城

マカオは中国広東省南部の珠江デルタに位置し、珠江河口の西側にあり、本島と氹仔・路環の2離島から構成される。マカオには東洋と西洋の数百年の文化が凝集し、今の独特な文化環境と都会風格を織り成した。独特な歴史の息吹を持つマカオ歴史地区は2005年にユネスコ世界文化遺産として登録された。

マカオの交通が非常に発達し、本島と2つの離島の間の交通が特に便利である。文化も多元的であり、年中様々な祝祭日や催事イベントが行われている。例えば9月から10月に行われる国際花火ショー、10月から11月に行われるマカオ国際音楽祭、11月に行われるマカオグランプリやマカオフードフェスティバルなどが、マカオの魅力を多角的に発信し、ダイナミックで人々を感動させる観光都市を築き上げている。

名産物

杏仁餅、英記餅、肉干大王（ジャーキーキング）、香記肉干、葡式曲奇（ポルトガルクーキー）、世紀涼果、老牌車厘哥夫、辣味姜絲軟糖（ピリ辛ジンジャー飴）

広州（こうしゅう）

エネルギーな花の町と千年の商都

中国の都会はそれぞれの価値観があり、広州も独特な価値観を持っている。広州を実際に見て、歩いて、観光してみたら、独特なあなたは独特な町への旅が始まったことになる。

広州は2200年余りの歴史を持つ古い町であり、中国初の歴史文化名城の

一つでもある。解放路にある南越王墓博物館と中山四路にある南越国宮署遺跡は特に見る価値がある。近代史における広州は風雲激動の中国の中心となり、洪秀全故居、黄埔軍校などは、「広州がなかったら中国はどうなった？」と静に問い続けている。広州は中国の千年の商都であり、今日の中国が「一带一路」を拓くための重要な拠点でもある。

商業のみならず、広州の文化も盛んである。広州は嶺南文化の中心であり、「南国紅豆」と呼ばれる粵劇、嶺南画派、広彫、広彩、広繡は全て世界中に名を馳せる。陳家祠は嶺南の建築芸術の集大成であり、その近くにある華林寺と光孝寺は禅宗の発源地である。大衆文化と言えば、誰もが知る「生猛海鮮、清淡栄養、老火例湯（採りたての魚介





類、あっさりして栄養満点、じっくり煮込んだスープ）」を特色とする粵菜（広東料理）と「一盅两件（お茶一杯に2品の点心）」の「嘆早茶（朝飲茶）」、それにロマンチックな迎春花市がある。

広州の文化と人文気質により、自在で気のままに暮らし、心豊かで誰でも快適に生活できる町になった。白雲山を登るのは広州人の日常であり、珠江のナイトツアーでこの町のロマンとモダンを味わうことができる。従化の温泉が有名で、増城のライチは蘇軾も驚くほど美味しい。番禺は南海と順徳と隣りあい、ここは珠江デルタの奥地であり、桑基魚塘の側には楽しくて美味しい農家宴が待っている。

名産物

木彫、牙彫、彩磁、刺繍、流溪蜂蜜、清香荔枝干（ドライライチ）、広式ソーセージと月餅

逃してはいけない羊城新八景（羊城は広州の別称）

湿地唱晚：南沙湿地の両側、片方は夕焼けを飛び越す鳥、もう片方はクレーンが織り成した気高い鋼鉄帝国がある。命の霊知と工業の文明は、この湿地風景で互いに補完し合っている。

科城錦繡：広州科学城は広州市がハイテック産業を発展させるモデル拠点であり、広州の未来を代表している。

荔湾勝景：荔枝湾湧のそばに行くと、古仔を聞き、大戲（粵劇）を鑑賞し、骨董を玩味し、西関大屋で遊び、西関の人文と風情を満喫しよう。

古祠流芳：陳家祠に行くと、灰塑、陶塑、木彫から嶺南の建築文化の魂を、広繡、牙彫、玉彫から嶺南の工芸文化の真髄を味わおう。

越秀風華：越秀山上にある鎮海楼、五羊彫像、中山記念碑などの観光スポットは、歴史と現代感を融合させた広州文化を表している。

雲山疊翠：風景秀麗な白雲山は、昔から広州の裏庭である。

珠江流光：この珠江の水がなければ、生き生きしている広州城もなかった。珠江ナイトツアーは兩岸の彩りを鑑賞する最適な方法である。

塔耀新城：しなやかで美しい広州の新しいランドマーク「小蛮腰（広州タワー）」に登ると、広州城の色とりどりを全て目に収めよう

粵語（広東語）

粵語は広州方言を基準とする広東語であり、広州を中心とした珠江デルタや、粵中部、粵西部並びに粵北部の一部地区の共通語となる。

粵語は普通話（北京語・標準語）に次ぎ、中国で2番目に多く利用される言語と言われる。海外の様々な国では、粵語を話す人は普通話の話者よりも多く、影響力が高く、国連にも賛同された。広東人はみんな粵語を素敵な言語に、1.2億の粵人（広東系の人々）の誇りに思っている。

また、粵語から生まれた無数の粵語の歌は中国各地で流行し、粵劇は国内外で名を馳せ、中華民族の宝物とされている



深圳（しんせん）

イノベーションの鵬城，モダンな

辺境地にある漁村が「一夜で崛起」し、中国の経済的実力の最も強い経済特区になり、「北上広深（北京、上海、広州、深圳）」と呼ばれる中国の最大都市の一つになった、かつて発展のモデルとなった香港にも羨まれるのは、深圳である。

深圳に来たら、まず大都会の現代感とモダンな雰囲気を感じないといけない。地王観光と深港之窗はアジア屈指の高層ビル観光エリアである。東門老街に深圳人の歴史があり、深圳で最も人気の伝統的商業エリアとショッピング天国である。深圳のテーマパークも非常に有名で、改革開放の黄金時代を見守って来た。錦繡中華は今世界中面積の最も大きい、内容が最も豊富な実景ミニチュア景観エリアであり、1日で中華上下5千年の歴史を満喫できる。世界之窗と歡樂谷は鑑賞・娯楽・趣味を一体化させた中国の現代的テーマパークである。また、今日の深圳で最も注目を集める観光地は東部華僑城であり、中央国営企業が世界級の観光リゾートを創る好例であった。



東部華僑城は大梅沙に位置する。深圳は海浜都市として、無限の海景色を持っている。大梅沙と小梅沙は深圳の海岸観光の屈指のスポットであり、小梅沙は「東洋のハワイ」とも呼ばれ、東沖は深圳で一番早く朝日を迎える地であり、セレブたちの旅行の目的地でもある。深圳はほとんど低い丘陵地であり、市内の最高峰となる梧桐山には地元の人々がよく山登りに行き、「溯溪登高（溪流に遡って山を登る）」は梧桐山の一つの特色である。蓮花山は深圳八景の一つであり、鄧小平の真筆を鑑賞し、山頂では深圳市の全貌を俯瞰できる。

深圳は若くてエネルギッシュな町であり、深圳に歴史がないと思われるが、それが間違いである。「大鵬所城」は明代洪武27年に設立され、明清時代に渡って中国南部における重要な海防軍事要塞であった。今日の深圳は中国のイノベーションの都と有名企業が集中する地として名高い。華為（HUAWEI、ファーウェイ）、騰訊（Tencent、テンセント）、大疆（DJI）、中集（CIMC）、中国平安保険と深圳証券取引所は全てここにあり、深圳文化博覧会は中国唯一の国家級文化産業博覧交易会である。

👁️ リンク

世界レベルのデザインシティ

わずか20年余りで、深圳は小さな漁村から現代的都会に発展し、一人当たりのGDPは中国1位になり、全世界における都市化、工業化と現代化の奇跡を作り上げた。

2003年には、深圳では「文化立市」の戦略が正式に確立された。

2004年には、第一回文博会が深圳で行われ、「デザインが産業のコア・コンピテンス」との理念が確立された。

2008年には、ユネスコが深圳を「創造都市ネットワーク」の一員として認定し、「デザインの都」との称号を授与した。

近年では、深圳のデザイン産業が迅速に発展し、リーダー格をとる企業が次々と現れた。例えば浪尖、嘉蘭図などの工業デザイン企業が何度もレッド・ドット・デザイン賞を獲得し、飛来達は「航天表」によって世界時計業界のスターになり、水貝宝飾品専門エリアでは最も流行のデザインで年間800億人民元の取引額を達成した。黄治奇、陳紹華、韓家英、張達利など、中国ないし世界に影響を与えるエリートデザイナーが次々と輩出し、中国のオリンピック申請用ロゴマークも深圳の人によってデザインされた。

🎁 名産物

南山甜桃（もも）、沙梨（なし）、沙井蠔（かき）、大鵬鮑魚（アワビ）、基圍蝦（エビ）





珠海（しゅかい）

ロマンチックで幸せな島町

もしあなたは詩と彼方に憧れ、大海に向かうのが好きだったら、珠海はあなたに最適な目的地である。

マカオに隣接する珠海は、「ロマンの町」や「幸せの町」と言われ、都市の計画と建築の設計が独創的であり、典型的な亜熱帯の風光とゆったりするライフスタイルが魅力的である。珠海の看板となる情侶路（恋人通り）は、この南海の浜にある緑の大地を抱いているようであり、海岸にある珠漁女の彫像も、優美な愛情物語を綴っている。

珠海のロマンとリラックスが多面的である。円明新園は古典的皇家園林と江南園林建築の特徴を融合させ；横琴長隆国際海洋リゾートには、世界最大、そして最も想像力のある海洋王国がある。地元の人文と古建築を体験したいなら、「中国第一牌坊（門の形がした建築物）」と呼ばれる梅溪牌坊がおすすめである。また、「南海第一泉」の美名を持つ海泉湾海洋温泉が、珍しい上質な海底温泉である。

珠海は「百島の町」とも言われ、海岸観光の集大成である。珠海の新しいランドマーク「日月貝」と呼ばれる珠海大劇院は中国初めての海上歌劇院であり、シドニーオペラハウスのような存在である。珠海には多くの離島があ

り、そのうち東澳島が最も美しく、「ダイヤモンドビーチ」と呼ばれる南沙湾や、古代の海上シルクロードの天然航路標識であった高欄島の飛砂灘も有名である。

珠海は中国の改革開放で指定された初めての経済特区の一つであり、今は粵港澳大橋の開通が再び珠海の高速成長に貢献するだろう。

リンク

珠海航展は中国の自信と開放の証しである

中国国際航空宇宙博覧会（中国語では中国国際航空航天博覧会）は、略称として「中国（珠海）航展」もしくは「珠海航展」と呼ばれ、中国中央政府の許可による国際的な航空宇宙専門展示会であり、現在は世界五大航空展示会の一つとして数えられる。

珠海航展は1996より11回開催され、その間は中国と世界諸国の航空工業における発展を見守っている。中国の航空宇宙工業は「他国に遠く及ばない」から「奮い立って追いかける」、そして「同じ舞台で競技する」まで、「学んで発展する」から「自主的にイノベーションを起こす」まで、それに「協力パートナー」から「平等的協力」まで、三つの画期的な飛躍を果たした。

航展は毎年11月に珠海で6日間の素敵な飛行ショーを行い、実物展示、貿易商談、学術的交流と飛行ショーを主要な内容として、世界中の41ヶ国からの航空宇宙関連企業が700社以上出展している。

この前の航展では、中国が自主開発した新世代のステルス機が登場した。さて今年の航展はどのような新発見があるだろう。興味のある方はぜひ見に行こう。

名産物

白蕉海鱸魚干（干し魚）、特産干货（干し物）、風味魚干（干し魚）、有機大米（オーガニックこめ）、生態豆、醬料（醬調味料）

仏山（ぶつざん）

伝説的な禅の町と嶺南の獅子舞

「天下武功出少林、南派武功出仏山（天下の武術は少林にあり、南の武術は仏山にある）」、仏山は中国南派武術の重要な発祥地であり、黄飛鴻とブルース・リーは香港映画のお陰で世界中に名を馳せている。歴史的では、仏山は北京、蘇州、漢口と並べて「天下四聚（天下で最も人が集まる4つの都会）」と呼ばれる。唐宋時代は、仏山が珠江デルタの奥地として地理的優勢を以って、嶺南の貿易重要拠点となり、中国の四大名鎮の一つに数えられた。仏山は他にも名物と伝統があり、中国の南獅（中国南方スタイルの獅子舞）は広東にあり、広東の南獅は仏山から源を発した。仏山の詠春拳が「南拳の王」と呼ばれたように、仏山の南獅も「獅子舞の王者」の美名を誇る。石湾の磁器は仏山に「南国陶都」の名誉をもたらした。仏山は粵劇の発祥地でもあり、名優と名劇が輩出している。また、仏山には「広紗の中心」や「嶺南薬材の発祥地」などの美名がある。

仏山には人文観光・自然観光の景勝の地が満開し、康有為故居、仏山祖廟、南風古灶、西岸観光エリア、西樵山、山水



荷花世界等がある。そのうち、南風古灶は仏山新八景の一つであり、明・正徳年間に建造され、「生きている文化財」と呼ばれる。仏山には士大夫（古代中国の官僚）園林も多く、「清暉園」と「梁園」は典型的な嶺南庭園であるため、仏山は嶺南文化の発祥地と考えられる。西樵山は広東四大名山の一つであり；三水森林公園と三水荷花世界は空気がフレッシュで景色が美しい；三水九道谷観光エリアは都会人憧れの「桃源郷」であり、九道谷ラフティングは「仏山第一漂」と呼ばれる。

今の仏山は中国百強県No.1の順徳とNo.2の南海を管轄しているため、まさに広東の三番目の新興都市。今日の仏山はすでに広州と一体化し、明るい未来に向かっていく。

リンク

北に少林、南に仏山

仏山は有名な武術の郷であり、中国南派武術の重要な発祥地である。明代の初期、仏山の武術はすでに非常に普及された。清末・民国初年になると、仏山には様々な武術流派が現れ、国際的影響力を持つ武術家と武術団体も少なくなかった。現在世界中で流行している蔡李仏拳、黄飛鴻・黄麒英を代表とした洪拳、嚴詠春、葉問を代表とした詠春拳など、多くの拳法と流派は皆仏山から源を発したのである。

仏山の武術は様々なアプローチで世界進出しており、その最も庶民的で人気を博したのは映画である。「黄飛鴻」・「葉問」などの名作映画は伝説的な仏山武術泰斗を原型とした。「黄飛鴻」をテーマとした映画は百部も超え、黄飛鴻のシリーズにもなった。多くの外国人は華人の武術映画により李小龍（ブルース・リー）、李連傑（ジェット・リー）、成龍（ジャッキー・チェン）を知り、中国功夫に憧れ、さらに中国が好きになった。

名産物

石湾陶器、仏山剪紙・仏山片画、西樵雨霧茶



惠州（けいしゅう）

山海が呼応するめぐみの州

惠州は「粵東重要拠点」や「粵東門戸」と呼ばれ、山に寄りかかって海を面する。北部には「南国避暑天国」の南崑山があり、北回帰線におけるオアシスとなり、山と林がうっそうとしている。「嶺南第一山」と呼ばれる羅浮山は道仏両教の修道聖地であり、東晋の葛洪はここで道観（道教寺院）を創設し、天下第七大洞天や三十四福地と人々に呼ばれている。惠州には山と海が呼応し、南部には浜海リゾートエリアがあり、200キロ以上の海岸線を持ち、そのうち平海の巽寮湾と大亜湾は最も綺麗な浜海風光である。南中国海の最南端に延伸する海亀島は、中国大陸最大の海亀自然保護区である。

惠州には東江が流れて、水はその目である。城内の西湖は杭州西湖に匹敵するほど美しく、「三処西湖一色秋、錢塘潁水與羅浮（杭州、潁州と惠州には同じくらい美しい西湖がある）」は粵東知名の風景である。この景観は中国のロマン派詩人の蘇軾、及び彼の恋人王朝雲に縁が深く、惠州城はこの景観で「半城山色半城湖」の美名が与えられた。惠州には温泉が多くあり、蘇軾が3回も沐浴した「東坡温泉」と呼ばれる湯泉から近年開発された南崑山温泉、龍門温泉、平海温泉等で、リラックスしながらロマンな雰囲気を楽しむ。

惠州は客家人の重要な居住地であり、海外の華人華僑並びに、香港・マカオ・台湾に住む客家同胞は客家四州の中で最も多く、「客家僑都」と呼ばれる。平海古城の十字古街、開帝廟、城隍廟等の古建築がよく保存されており、嶺南文化の「生きた化石」とも呼ばれる。水郷の風情が溢れる功武村香溪堡古集落で、漁師の小舟に乗り、神秘的な「五宅古堡」を探ろう。

惠州は人材が集まる地である。ここは葉挺、廖仲愷、鄧演達、葉垂來などの英傑たちが活躍した地、中国近代の闘争史の最前線でもあり、華南抗日戦争の主力部隊となった東江縦隊もここで設立された。

名産物

梅菜扣肉煲（肉の鍋料理）、客家釀豆腐（豆腐料理）、東江鹽焗鷄（鳥料理）、五指毛桃鷄（鳥料理）、発糕（もち）



惠州観光概略図



東莞（とうかん）

精彩を知で創り、莞香は天下で香る

メイドイン東莞は世界中で名がよく知られている。東莞は高度化した輸出工業で天下を雄視する気迫を持ち、改革開放の新しい史詩を書き続けている。広深高速に渋滞が起これば、全世界のパソコンやハード類部品の値段が上がると言われるほどである。

深圳と隣接している東莞は世界製造業の都でありながら、濃厚な文化と郷土色も持っている。東莞は嶺南文化が定着し、有名な龍舟の郷、龍獅スポーツの郷、民間曲芸の郷などでもある。嶺南画派は広東「四大名園」の一つである可園から発祥した。嶺南園林建築文化の集大成となる粵暉園は皇家園林の気迫、江南園林の典雅、それに嶺南園林の清秀を兼備している。東莞の名は「莞花」という植物から由来し、東莞は女兒香の集散地である。香港の「香」もそれに関わると言われている。

東莞城にはもっと多くの歴史的遺跡がある。市街地中心にある迎恩門の櫓が依然として屹立し、保存された明代の基礎がとても貴重である。一方で、郊外の古集落群も独特な魅力を持つ：黎氏大宗祠および古建築群、南社村古建築群、「逆水流亀」村堡、塘尾古村落、全て広府文化が濃厚な典型的な嶺南古村落である。



東莞は袁崇煥の故郷であり、孫文の母方の祖母の故郷でもある。東莞は近代史には重要な存在であり、虎門阿片博物館、海戦博物館は中国の愛国教育基地である。威遠炮台と珠江口を跨ぐ虎門大橋（虎門の服装城にも行く価値がある）は、東莞が飛躍する記しであり、古城に輝きの風景を加えた。今日の東莞は、「製造」から「智造（製造の中国語と発音が同じ、知識と知恵で創ること）」の転換を果たし、この「世界工場」と呼ばれる町は、「人から機械に切り替わる」イノベーションが盛り上がっている。綺麗な松山湖はこの町の「科技共山水一色（科学技術と美しい山水の共存）」というイメージを築き上げている。

名産物

莞香、荔枝（ライチ）、麻湧香蕉（バナナ）、沙田蓮藕（レンコン）、厚街臘腸（ソーセージ）、白沙油鴨、虎門麻蝦



リンク

香りを嗅ぎ寮歩を知る

昔、莞香の香りはほとんど東莞寮歩鎮の上空に籠っていた。無数の莞香は東莞から香港に運ばれ、また香港から東南アジアはじめ世界各国に発送されている。莞香はお茶と陶磁と並び、海外に輸出する最も貴重な貨物になった。今では、寮歩香市は中国國務院の認定により国家級無形文化遺産（第四回）として認定された。

寮歩鎮は「莞香」の貿易で世界中に名を馳せ、「香市」の呼称があり、広州の花市、羅浮の薬市、それに廉州の珠市と一緒に広東の「四大名市」と併称される。

近年では、寮歩が「古代香市、現代香都」の莞香文化プロジェクトを立ち上げた、香文化の要素と休憩娯楽の機能を備えた香市公園の建設、香文化と農耕文化を体現する活態展覧館の建築、グリーン香市を作るための的万畝（中国の面積単位、1畝=667平方メートル）莞香林基地の企画、香市文化を題材にしたテレビドラマ「莞香」、香市文化を探る「香市博覧」や「香市伝奇」などの文学作品の創作、及び香産品展示販売センターなどの建設など、多角的な活動を展開している。興味のある方は是非この盛況を見に来てください。



中山（ちゅうざん）

住みよい香山，名人の故里

中山は中国唯一の、偉人の名前で命名した地である。

中山は孫文（孫中山）の故郷であり、偉人を記念するために、1925年に「香山」から「中山」に改名した。それによって、中山の最も行くべきところはもちろん孫文先生との縁が深い。中山市東南の翠亨村および孫文故居では、至近距離で偉人と接触することができ、偉人の経歴を理解し、偉人の心を静聴できる。

中山は濃厚な歴史と人文がある地であり、「香山文化」は中国近代文化の発祥地でもある。詹園は嶺南地区で規模が最も大きいプライベート古典庭園であり、「中山大

名産物

咀香園杏仁餅、小欖菊花餅、三月紅荔枝（ライチ）、石岐乳鴿（ハト）、三郷瀨粉（ヒーフン）

宅門」とも呼ばれ、中西造園の真髓を融合させている。民衆鎮は嶺南一帯最も完全に保存され、水郷の特色が最も濃厚な自然・人文景観であり、「嶺南水郷」の美名もある。小欖は菊を栽培する歴史は700年余りもあり、菊花会を行うのも300年近くの歴史があり、小欖鎮は「菊城」とも呼ばれる。中山は民が富んで物が豊かであり、美食も当然多い。百年の老舗である咀香園の杏仁餅は生産と観光を融合させ、独特な食品文化を創造した。自然環境の恵を活かし、中山には近年娯楽・会議・休暇と様々な目的を満たす大型のリゾートゾーンが次々と開発されてきた。泉林旅遊山莊には「一步一景」（一步踏むたびに景色が違って来る）の景観があり、いつまでも観光客に新鮮感を与え続けるため、「中山最人気」の観光スポットである。

中山は昔から「広東四小虎」と呼ばれ、深セン・中山高速道路の開通は中山の未来の発展に繋がる。



江門（こうもん）

秀美な五邑，世界遺産の町

浩瀚な南海の浜と、奔流の西江と潭江に囲まれたのは豊饒で伝説的な土地、「中国第一僑郷」と呼ばれる江門である。

江門は俗に「四邑」と呼ばれ、後に「五邑」（新会、台山、開平、恩平、鶴山）と呼ばれるようになり、華僑の故郷である。塘口鎮自力村的碉楼（開平閣楼）群落を探ると、僑郷文化に満ちた歴史的絵巻を開くことになる。「華僑園林第一園」との美名がある開平立園は中西文化融合の代表作である。江門長堤の風貌街、台山の「小広州」商業步行街（歩行者天国）にある騎楼古建築、それに中国映画「さらば復讐の狼たちよ」のロケ地となる赤坎も濃厚な僑郷文化の息吹がみなぎる。

江門は幸せで住み心地よく、英傑が集まる地である。上下川島の風がヤシの林を撫で付け、「小鳥天堂」は天馬河の中でこんもり茂み、林を貫通する玉のベルトのような緑道もある。西江の浜に山水に囲まれた浜江新城、新会の崖門にある宋元海戦の古戦場、白沙祠という明代儒家・理学（道学）家陳白沙の祖廟もあり、清末の維新領袖梁啓超は白沙祠から中国を改革する歴史的舞台に登場した。

江門は中国屈指の温泉を有し、台山の三合温泉は「広東第一泉」との誉れがあり、新会崖門にある古兜温泉（中国の温泉業界で初めて上場した企業）は水質が陝西臨潼の華清池と類似し、そこに入ると皇帝のような体験ができる。

名産物

新会陳皮（ちんぴという漢方薬材）、開平金山火蒜（にんにく）、台山蝦醬、鶴山古勞面豉、鶴山桔普茶



江門観光概略図

👁️ リンク

中国随一の華僑の故郷

近代以来、中国人が民族の存亡をかけて反抗と闘争を繰り返した最も困難な時期には、とある人たちは海外で暮らしながら、すべての家財を売り払って換えたお金を祖国に送ったり、自ら帰国し反帝・反封建の闘争に身を投げたりして、中華民族を守るために抹殺できない貢献をした。この敬服すべき人たちは、広東籍の華僑を先鋒と中核となる海外華僑であった。

華僑全体の三分の二は広東生まれであり、世界中100以上の国と地域で生活している。広東の中では江門生まれの華僑が最も多く、江門は名実相伴う「中国第一僑郷」となった。経済面では、広東の華僑は祖国と故郷を強力に支援し、文化面では、彼達は海外の文化を大量に持ち込み、世界中有名な開平閣楼のような中西文化の結晶を創り出した。



肇慶（ちょうけい）

山水の端城，すずりの名産地

グルメたちにとっては、端午の節句は先人たちを追懐するほかに、裹蒸粽（包み蒸しちまき）という肇慶の名物料理を食べるのも重要なことである。肇慶は中国の歴史文化名城であり、人文観光の資源がとても豊富である。肇慶は悠久な歴史を持ち、唐代の六祖恵能、宋代の包公（包拯）はみなここに足跡を残した。肇慶には人文的古跡が多く、国家級、省級の文物保護単位は数十ヶ所ある（例えば如梅庵、宋城壁、七星岩摩崖石刻、徳慶学宮など）。書道好きな人は、肇慶の端硯をきっと知っているだろう。端硯は工芸が精緻であり、段々品薄になるため、文人墨客は非常に重宝している。肇慶は人が純朴で、特色のある祝祭日がたくさんある。旧暦の毎年四月八日が浴仏節、六月六日が橋頭鎮の廟会日であり、廟会



名産物

檀香扇子、高要花席（むしろ）、鼎湖山茶餅

日には「対山歌（山歌のデュエット）を聞き、掏燕窩（ツバメの巣を獲る）を見て、貴兒戲（地元の演劇）を観る」という燕岩廟会の「三絶」や、肇慶の龍舞などを体験できる。

肇慶の風景も独特で、町全体が大きな天然盆栽のようである。七星岩と鼎湖山は嶺南の山水風光の代表であり、羚羊峽、三榕峽と大鼎峽から構成した西江三峽風光は珠江中流で最も有名な景致である。七星岩の七つの峯は湖の中で北斗七星のような倒影が映り、高いところから見ると壮観かつ独特な風景になる。鼎湖山は国家級の自然保護区であり、「砂漠帯のオアシス」と呼ばれる。また、披雲楼、盤龍峽、龍母祖廟なども特色のある肇慶の観光スポットである。

リンク

端硯，硯の上品

端硯は肇慶の看板名物であり、長い歴史を乗り越え、中国四大名硯のトップになった。端硯は石質が堅くて滑らかで、できた墨汁も繊細で滑らかで、非常に描きやすく、硯の上品と呼ばれる。端硯を保有することは昔の文人にとっては夢のようなことであり、一旦入手すれば文机の端に置いたり、どこに行っても携帯したり、家伝の宝にすることもあった。宋代からは、端硯が朝貢品となり、国内外で名を馳せるようになった。

歴代の硯職人は腕によりをかけて仕上げ、多様な造形を持つ硯を作り続けてきた、唐初期の実用型から明清時代の實用と鑑賞の目的を融合させたものまで、硯を民族の工芸美術として昇華させ、端硯の美名を築き上げた。









4

広東の旅はまだまだ続く



汕頭（さんとう）

海浜の名城，海風と潮騒

汕汾高速道路から汕頭に入ると、長く雄大な礮石大橋が汕頭と海を繋ることが目に映る。この特殊な地理的環境は汕頭の独特で秀麗な自然景観を生み出した。

汕頭は中国の重要な港湾都市であり、中国初の改革開放による経済特区の一つである。汕頭は海岸の沖積平野にあり、1860年に開港され、「海浜鄒魯、美食之郷（海浜の名城、美食の郷）」との美名がある。汕頭は海のそばにあり、海により盛ん、長い沿海歩行路と観海回廊では、太陽に照らされた塩っぱい海風を味わうことができる。南澳島（広東省唯一の離島県）の青澳湾には23の島が点在し、2キロ以上の海岸線を持ち、波が穏やかで海が綺麗で、「東洋のハワイ」との美名がある。萊蕪島観光エリアでは天然の防波堤が波を弱め、水泳に最適な環境が作られた。海風に吹かれて潮騒を聞き、海で遊んだり日光浴をしたり、最も純粋な海生活を体験しよう。

汕頭は媽祖文化の影響が深い。媽祖は海と一緒に暮らす人たちの保護神であり、元代にはここで老媽宮が建造され、老媽宮が位置する島は媽嶼島と呼ばれるようになった。汕頭人ははるばると海を渡り、骨身を惜しまず勤勉な精神と勇敢に開拓する精神を兼備しながら、誠実の品質と経営の腕があり、「中国のユダヤ人」とも呼ばれている。騰訊（テンセント）の創立者馬化騰は汕頭人である。汕頭



汕頭観光概略図

人はお茶、特に功夫茶（中国南部の茶道）が好きである。仕事場でも友人の家でも、ペットショップで愛犬が沐浴した間ですら、主人は必ず茶こし、急須と小さな湯のみを3つ出して、「関公巡城」「韓信点兵」（すべて功夫茶道の入れ方を表す術語）を演出する。汕頭の飲食は潮州料理であり、粿（米団子）、牛肉団子、鹵水（ロウソイ）、海鮮など、潮汕料理は「工夫菜」とも呼ばれ、食材の選択から加工まですべてのプロセスが精細で、多様な調理方法によって色・香・味の兼備を追求し、中国「最も高級な料理」との美名もある。

この町は商業界のスーパーマンと呼ばれる李嘉誠とも縁があり、汕頭大学、イスラエル工科大学分校、汕頭海湾大橋も見ると価値がある。

名産物

猪肉脯（ポークジャーキー）、牛肉丸子、魷魚干（スルメイカ）、猪頭粽、腐乳餅、緑豆餅



河源（かげん）

万緑の河源，童話の原風景

河源は「槎（筏）城」との別名があり、東江と新豊江が市街地の東側に合流し、町が水上に浮かんだいかだのように見えるからである。新豊江ダムは有名な万緑湖であり、華南地区最大のエコツアーの名勝の地である。万緑湖は「いつでも緑、どこでも緑」とのことに因み、河源はそれによって「緑の明珠のような町」と呼ばれることになった。万緑湖の中核的観光スポットは鏡花縁である。その桂山は河源の最高峰であり、年中に緑があり、花が香り、果実が実り、「植物王国・動物楽園・旅行天国」の美名がある。桂山主峰の北部に野趣溝があり、雲南西双版纳の原生林のような「野生植物」及び「青城天下幽」と評価される四川青城山のような「幽玄な景色」を兼備する。河源には「粤東丹霞山」と「粤東小桂林」に呼ばれる連平内莞山水と、「地下龍宮」と呼ばれる漳溪黄龍岩等の自然景観がある。

河源には素敵な自然景観のみならず、濃厚な歴史と人文も有する。広東の文化名城となる佗城、その名は、秦代の河源に位置する龍川県の長官、嶺南を統一した趙佗から由来した。今日の龍川県城には秦代の城跡と越王の井戸、趙佗の故居と正相塔、循州治と城隍廟など、秦代の遺跡から明清の古橋まで、ありありと目に浮かんでいる。河源は客家人の居住地であり、「客家古邑」と呼ばれ、客家文化の重要な発祥地でもある。東江の客家料理は嶺南全域で名高く、河源のすべての県と区には客家の歌舞劇団があり、紫金県の客家花朝戲（演劇）は「中国無形文化遺産」に認定された。

河源新豊江センターの音楽噴水は現代的景観の極致であり、高さ169メートルの噴水がアジアNo.1と言われる。紫金の御臨門温泉は冬に最適な旅行地である。



梅州（ばいしゅう）

客家人の都，長寿の町

梅州は客家人の梅州であり、全市99%の人口が客家人で、世界最大の客家人の居住地として「世界客都」と呼ばれている。梅州では客家の風情が濃厚で、口調の優しい客家方言と客家山歌を聞き、自然でヘルシーな客家美食を食べ、包容力のある客家囲龍屋を鑑賞し、忘れられない旅行体験ができる。土楼（囲龍屋）の数とえば、福建広東地区では梅州よりも多いところもあるが、梅州の花萼楼は一番印象に残るだろう。三環の円楼は洞突きで固められた壁から構成され、楼門が堅固で、まるで堡塁のようである。

梅州では、客家土楼を訪ねるほかに、梅州の名人故居に行くのも旅の醍醐味である。梅州には勉学熱心の逸材が多く、政治家と思想家が輩出している。黄遵憲の人境廬には、園林に花畑、築山に魚池、そしてあずまやに



楼閣と回廊が繋がる。梅県雁上村の葉剣英故居は素朴な客家囲屋であり、虎形村の葉剣英記念園は比較的に規模が大きく、人文と自然、旅行と観光がすべて満喫でき、葉剣英の過去と梅県の穏やかな風光を融合させた。梅州には悠久なる歴史があり、梅州の旅には修慧寺千仏塔が不可欠である。塔の四面にはそれぞれ250尊の仏像があり、計千の仏に因んで千仏塔と名付けられた。お参りが盛ん、清幽の地でもある。梅江が町を囲み、水と山が静寂である。梅州の山水は多くのリゾートを生み出した。雁鳴湖、雁南飛茶田、長潭で湖を観て魚を釣り、お茶を味わいながら静養し、大自然で心身が寛ぐ絶好の地である。龍帰潭飛瀑と七畝嶂絶壁も梅州の観光名勝であり、長楽神泥と豊順温泉は養生の福地である。

梅州は山水の町であり、8つの大橋が虹のように波打つ梅江と照り映え、「緑の中に町、町の中に水中水」との優美な絵巻になり、「詩画梅江」と呼ばれている。



梅州觀光概略図

🎁 名産物

金柚果脯（ドライフルーツ）、蜂蜜柚子ジャムと柚香柚脆（ゆずの零食菓子）、単叢茶、客家活竹酒、鹽焗鷄翅鷄爪（烏手羽ともみじ）



梅州は山水の町であり、8つの大橋が虹のように波打つ梅江と照り映え、「緑の中に町、町の中に水中水」との優美な絵巻になり、「詩画梅江」と呼ばれている。

リンク

客家山歌

梅州は山歌の郷である。客家の山歌は客家人の精神的ふるさとであり、濃厚な客家文化を伝承している。この梅花が咲く土地では、客家人が歌を創作、伝承、そして実際に歌って演出し、客家生活の息吹を表し続けている。

中原から粵東へと、客家の山歌は千年の風雨に洗礼され、独特な言語で客家の同郷人の生活と情感を記述している。大昔の「詩経」の高雅な風格を伝承し、南方各地の民謡の長所を吸収し、現代まで発展し続け、様々な歌体が形成された。例えば現代の「情歌、労働歌、勸世歌、行業（職業）歌、逞歌、虚玄歌、拉翻歌、謎語（なぞなぞ）歌や猜調、小調、竹板調」等は、生活のあらゆる側面を表現し、社会と歴史の進んで行く道も反映し、客家人が真善美に対する追求も表している。



汕尾（さんび）

海豊と陸豊，海浜の汕尾

汕尾は「汕美」のように呼ばれ，美しい地である。宋代初期から商業の町になり，かつては「商船雲集」の地であり，1920年代には「小香港」とも呼ばれた。2011年，深汕特別合作区が成立し，汕尾は高速成長の軌道に乗った。

汕尾は中国の「四大漁場」の一つであり，中国の「四大貝彫場産地」の一つでもある。紅海湾の遮浪南澳半島は「粵東の麒麟角」とも呼ばれ，特殊な地形と水流により，半島の東西両側の海面は全く異なる景色を呈し，国家級の天然海水浴場である。陸豊の金廂灘浜海観光エリアは，自然景観・人文景観・浜海風光を一体化させ，ビーチの砂浜は珪砂から形成され，粵東地区最大の天然海水浴場である。

汕尾の海陸豊は中国共産党13の革命根拠地の一つである。「海豊紅宮紅場旧跡」は中国初の農村赤色政權とな

る海豊蘇維埃（ソビエト）政府の所在地であり，1927年に「農民運動大王」の彭湃が武装蜂起を率いて設立したものである。汕尾の名所旧跡が非常に多く，そのうち鳳山祖廟、玄武山元山寺、清雲山定光寺が最も有名で，粵東地区における重要な宗教活動の場所でもある。春と秋に汕尾に来たら，蓮花山観光エリア、玄武山元山寺、待渡山甲秀楼等の名勝を観覧したり，紅海湾、龜齡島の島景色を体験したり，暖かくて心地よい気候で素敵な旅をしよう。

名産物

蝦蛄干（干しシャコ）、魷魚干（干しイカ）、真珠寶飾品、貝彫





潮州（ちょうしゅう）

潮人の故里，天下の名州

「到広不到潮，枉費走一遭（広州に行って潮州に行かねば，勿体無い旅になる）」，旅行文化の観点からでは，潮州は広東の重鎮の一つである。潮繡、潮州戲（演劇）、潮州木彫、潮州料理、潮州功夫茶、潮州民居など，潮州の文化は広東地区全体に影響を及ぼす。特に粵東の人文風潮は，大嶺南文化の中でも独自の道を切り開いた存在である。

「中国優秀観光都市」として，潮州の新旧八景は観光客に深い印象を残す。文化財や名所旧跡などの人文的景観が多く，城・山・江・海・湖はそれぞれの異彩を放ち，観光資源が豊富である。古橋、古寺、古塔、古祠、古城壁、古窯跡、古民居、古石刻等，各種の名所旧跡が揃えている。中国四大古橋の一つに数えられ，世界初の開閉式橋梁となる広濟橋，国内でも珍しい宋代の貴族建築許駙馬府，唐代に建造され，粵東地区の仏教の中心となる開元寺，潮州木彫の集大成であり，全国近代優秀建築と認定された己略黄公祠，延々2キロ続き，「百窯村」と呼ばれる筆架山宋代窯跡，北宋に建造され，中国現存の最も古く、最も完全に保存された唐代理学大家韓愈を記念する韓文公祠，明代洪武年間に建造された広濟門の櫓，石刻芸術の最高峰となり，入神の域に達する從熙公祠など，とても多くの名所がある。また世界中で有名な「潮州

八景」となる鳳凰時雨、湘橋春漲、鰐渡秋風、北閣仏灯、龍湫宝塔などは真珠のようにこの山紫水明の古城絵巻に点在している。市街地に新しくできた浜江回廊、人民広場などの観光スポットも素敵である。

潮州の最も代表的なイメージは商人文化であり、李嘉誠が潮州出身とのことは誰もが知っているだろう。潮州商人団体はかつて中国古代の3大商人団体の一つであった。潮州の最も美しいのはやはり生活と文化であり、潮州の「工夫茶」は自ら一派になり、「潮州木彫、抽紗、陶磁」は世界中で有名であり、潮州の古町ではリラックスな一時を満喫できる。

リンク

毎日の生活は一杯の工夫茶から始まる

潮州人には1日でもお茶を欠かせない。「工夫」と呼ばれるのは、特殊な入れ方と道具が必要で、お茶をいれる技法と茶器にこだわり、お茶の学問と鑑賞のお作法も含まれている。

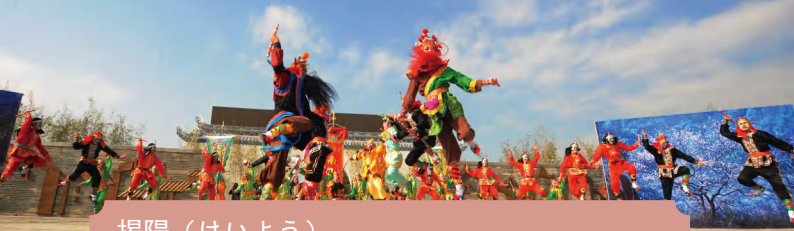
工夫茶は潮州の茶道であり、中国の国家級無形文化遺産として名高いが、誰にでも敬遠されず、むしろ潮州では随所見られ、すでに潮州の人々の命の中に溶け込んだ。

潮州人にとっては、一杯の工夫茶を入れるのは、早起きの1日のスタートに、昼食後のリラックスに、それから夜の一家団樂の幸せにいつでもできる。急須と湯のみがあればお茶をすぐ楽しめる、「関公巡城、韓信点兵」（全て潮州茶道の術語）など、これらの工夫茶の技芸は、八十才の爺ちゃんから幼い子供までみんなできる。

工夫茶は生活の茶道である。潮州に来たら是非本場の工夫茶を楽しもう。

名産物

鉄皮石斛（漢方薬材）、肉脯（ジャーキー）、鳳凰単穰（お茶）、
仏手涼果（仏手柑）、腐乳餅（点心）



掲陽（けいよう）

水と榕樹の町、潮汕のみなもと

掲陽は潮汕三市の一つであり、粵東の古い町として、近年は粵東五市のGDPトップまで発展されてきた。掲陽は「中国玉都」の美名があり、その玉器産業は百年余りの発展を成し遂げ、中国ないしアジア最大・最高級の、そして最も密集する中高級翡翠（ひすい）専業市場並びに生産加工基地が形成された。

掲陽は山に寄り添い海に向かい、秀麗な山川と多くの名所旧跡を持つ。歴史・文化の観光スポットとして、掲陽学宮（宋代に建造、嶺南最大規模）、古榕武廟（関帝廟）、丁氏光祿公祠（丁日昌旧居）との3つの国家級文物保護単位、そして三山国王祖廟遺跡（世界各地に分祀がある）、城隍廟、徳安里民居群、靖海古城壁などの17の省級有形文化遺産が代表的である。また、2万余りの玉仏像が供養され、「東方玉仏国」と呼ばれる南岩古寺は世に並ぶものなしである。掲陽には潮劇、英歌舞、煙火花龍、玉彫など9つの国家級無形文化遺産と、行彩橋、鑼鼓標旗巡遊、茶芸、飄色などの28の省級無形文化遺産があり、掲陽の多種多様な民俗文化を体験できる。

エコツアーの面では、嶺南地区最も大きい瀑布群となる黄満寨瀑布群（総落差320メートル、幅82メートル）、大型自然観光リゾートの大北山森林公園（マイナスイオン濃度が10万/cm³）、掲西京明温泉リゾート、大洋雲霧山莊、大北山森林公園リゾート、掲東万竹園、望天湖生



態観光リゾートなどの温泉養生総合観光地区、それに海浜度假村リゾート、海市蜃楼、海角甘泉等から構成された浜海風情観光旅行回廊はすべてオススメの観光スポットである。

ビジネスの面では、中国の漢方薬材の集散地となる普寧国際中薬材市場（全国80%の冬虫夏草、70%の田七と60%のアメリカニンジンがここで集散する）、普寧国際服装城（世界中のシャツは10着に1着、女性用下着は10着に6着が掲陽産である）、中国85%の高級翡翠の加工集散地、それに富の神話を作り上げた「中国淘宝（タオバオ）村」掲陽軍埔電商（電子商取引）村などがある。

名産物

蕉柑（みかん）、青梅、竹筍（たけのこ）、荔枝（ライチ）、掲陽醤油、脆皮豆腐（ゆば）、炸姜薯卷（生姜といもの揚げ物）、五房緑茶







陽江（ようこう）

南海のシルクロード、豊饒な陽江

海と山に寄り添い、夕日が砂浜と島並みを照らし、山の峰と鍾乳洞が点在し、天然温泉の湯気が立ち、南国の千島湖には鮮やかな波が立つ。彩りの凧が大空を飛び、龍舟が波を切り、漁師の歌が海風と一緒に流れる。これは陽江の魅力的な風景である。陽江は中国著名な海浜観光都市であり、中国凧の郷でもある。

海陵島は「中国国家地理」雑誌（中国版ナショナルジオグラフィック誌）に「中国最も美しい島10選」に選ばれ、今は5A級観光地である。海陵島には十里銀灘と呼ばれる壮麗で広大なビーチと、延々16.5キロの長さを待つ海岸線があり、同じく海陵島にある閘坡大角湾と陽西沙扒の月亮湾が並べて姉妹海湾と呼ばれ、中国有数の綺麗なビーチがある。その近くには宋代をイメージした建築群である宋城と「南海一号」を保管している広東海上シルクロード博物館があり、滄海と桑田の物語を綴っている。

陽江にはカルスト地形が多く、鍾乳洞が点在する。凌霄岩は南国洞天と呼ばれ、幻の鐘乳を鑑賞でき、玉溪三洞には地下水が流れ、澄みきっている泉が湧く。東湖星島には島並みが密集し、清秀な山水、美味しい果物が実り、動植

物の楽園でもある。東水山には猪血木や奇峰が有名で、陽春の石林、八甲大山の天池、鷺凰峰の飛瀑白水、通天蠟燭、崆峒岩洞、龍宮岩はすべて行くべき観光スポットである。

陽江の海鮮グルメは莫江路の美食街道で満喫すべきである。陽江は臨海都市のため、その料理も海鮮に長ける、特に蒸し料理とスープ料理は食材本来の味を引き出せる。あさりの鍋料理やイカ料理、カニスープと魚団子が入った魚面、それに粉酥煎堆（胡麻団子）も嬉しい味がする。陽江の特産品は陽江豆豉（トウチ）、陽江小刀（ナイフ）と陽江漆器からなる「陽江三宝」及び陽春産の春砂仁酒、蛇鞭蛤蚧酒と三蛇酒という「陽春三宝」が最も有名である。

リンク

陽江三宝

「陽江三宝」は陽江小刀、陽江漆器と陽江豆豉を指す。陽江小刀というナイフは鋭くて使い勝手がよく、形も美しい。有名メーカーである「陽江十八子」と「盛達刀具」等は、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカなどの60以上の国と地域で、年商百億人民元以上の事業を展開し、中国の刃物産業では重要な地位を占めている。「陽江小刀」は世界中に名を馳せている。

陽江の漆器は300年あまりの歴史があり、煌びやかで美しく、造形が精巧で湿気に強く、東洋の美を体現している。陽江漆器は生活用品として活用できながら、美術工芸品として鑑賞する価値もある。

陽江豆豉は中国伝統の発酵豆製品であり、陽江人の厨房に不可欠な調味品である。どのような料理を作ろうとしても、豆豉を少し加えるだけでも料理の風味が格段に代わる。陽江の人々は皆豆豉が大好物である。

名産物

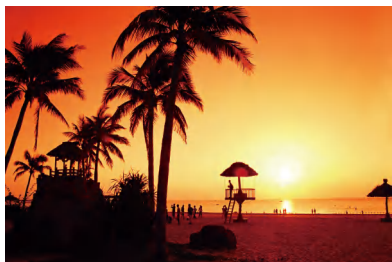
陽江小刀、陽江漆器、陽江豆豉、土蜜砂、黄鬃鷺、陽江姜豉

湛江（たんこう）

湛湛たる青い海と空

湛江は若い海浜都市であり、中国大陸の最南端に位置する。ここにはどのような魅力があるだろう。鄧小平は「北有青島、南有湛江（北に青島、南に湛江）」と言い、周恩来は「家屋が樹林に建てられ、幽静で奥ゆかしく、小さなパリのようだ」と褒め、陳毅は「冬は暖かく、秋は夏のようなようだ。涼風が動くと、暑い空気が散る」と評価し、「東洋のジュネーブ」に例え、作家冰心と詩人艾青はそれぞれ湛江に「湛江十日」と「湛江夾竹桃」などの散文名作を残した。

世界中でも珍しいマール湖として、湛江の湖光岩が数えられる。海水面以下に位置する純粋な湖は、外部の水系と全く通さず、この山と空の倒影が映る碧水は一体どこから来たのか、誰も知らない。湛江には観海回廊があり、海岸線に沿って作られた園林景色は、湛江の長堤観海という名勝になり、片側は広々として一望千里の大海、もう片側は青々とした園林都市。寸金橋と広州湾のフランス公使署は戦争と屈辱の歴史を銘じている。南国は植生が豊かで、湛江の南亜奇園は熱帯植物の天国である。南国は島々が多く、南三島では潮騒を聞き、砂浜を照らす夕日を観ることができる。



碓洲島（どうすじま）の灯台がきらきらと光り、漁師の唄に合わせて船で海湾を走り、カモメと遊ぼう。雷州半島の雷州城には古い祠があり、雷祖と十人の名臣を祀っている。昔から雷州が中国大陸の最南端として認識され、この辺境の地に左遷されるのは官吏たちにとっては重い処罰であった。雷州人は清廉な官吏たちを誇りに思い、十賢祠を建造し、彼たちの忠魂を祀っている。

名産物

瑶柱（貝柱）、海馬干（干しタツノオトシゴ）、生魚片（刺身）、珍珠（真珠）

リンク

らいしゅうせきく

雷州石狗は雷州人の独特な文化の象徴であり、特色のある民間芸術の創作として無形文化遺産として認定された。

大昔の雷州は荒れ果てる蛮夷の地であり、人気なく瘴気が重かった。子供を産み、人口を増やすためには、人々は体力も精神力も強い石狗を崇拜し、威力があって猛々しく、大きな生殖器を持つ石狗を彫刻し祈禱を行なった。効き目があって子供が生まれたら、またお礼参りにして、子供の健康と成長を祈ったり、または子供の名前を「狗子」にしたりする。今でも老人たちは旧暦の1日か15日に3杯の芋スープか、3杯のご飯に豚肉ひとかたまりを持って石狗にお参りし、お香を差し上げて子孫を求める伝統が残っている。

今のところ、湛江と雷州等の博物館では千座以上の石狗が集められ、大きさと形態がそれぞれに違い、南の「兵馬俑」とも呼ばれ、非常に壮観である。





茂名（もめい）

海浜の緑の町，心の良い茂名

茂名は粵西の風情が溢れ，地域の特色が鮮明な観光地である。茂名では，何種類の言語をマスターしている人をしょっちゅう見かける。標準中国語と広東語はもちろん，雷州語、客家語、それに「旧時正話（茂名市電白県の旧方言）」まで流暢に喋れるのである。

茂名にある最大の島は放鷄島であり，その潜水リゾートは綺麗で神秘的な観光名勝であり，広東省の離島で最も高い植生カバー率を持つ。虎頭山の海浜リゾートには理想的な天然海水浴場があり，12キロの延々と長いビーチと綺麗で平坦な砂浜もある。海水は澄み切っており，暗礁もサメもなく，年間泳げる日数は280日以上あり，「南の北戴河」との美名がある。南海の海浜に虎頭山と晏鏡嶺との2つの山が聳えたち，リゾート地でありながら，天然の展望台でもあり，日光、白砂、蒼波、樹林と一緒に夢幻のような南国海浜の絵巻に織り成した。



茂名には独特な人文があり、「年例」と「大過年」（いずれも旧正月前後のお祭り）などの風習がある。人々は「社」の単位で集まり、お金や物を集めて祭典を行い、風調雨順（気候が順調で作物の成長が良い）、年豊人寿（年が豊かで人々が長寿）のことを祈り、俗に「年例」または「祭社」と呼ばれる。茂名の物産が非常に豊かで、電白の海鮮、化州の橘紅、ライチ、バナナ、龍眼などの「嶺南果物」は世界中名を馳せている。

茂名は海上シルクロードの重要拠点でもあり、今日は世界中に千軒以上の洗太廟がある。洗太は洗夫人（梁、陳、隋の時代で茂名に生きた少数民族の女性首領）のことであり、「吾事三代主、唯用一好心（3世の君主に仕えたのは、ただ良い心を用いただけである）」との名言を残し、まさに茂名の伝統精神である。

名産物

荔枝（ライチ）、龍眼、芒果（マンゴ）、角彫、緬茄（メンガ）、貝彫

雲浮（うんふ）

六祖の故里，魅力的な石城

町の中に山があり、山の中に水があり、緑樹と花香、山水が互いに引き立て合う」とは雲浮の特色であり、多くの名所旧跡が、雲浮のとりわけ恵まれている観光資源をもたらした。「百城でも唯一無二の地、六祖の法教で独自の天地になる」と言われる新興国恩寺は千三百年余りの歴史を持つ。雲浮は禅宗六祖慧能の出生と円寂の地である。

「春まだ寒いころ、華清池の温泉を賜った。温泉の水は滑らかに白い肌を洗う」と白居易が温泉入浴を描写した。新興の龍山温泉は広東省内唯一の硫化水素泉であり、水質が澄み切って温度が適切であり、医療と健康促進の効能がある。雲城の蟠龍洞観光エリアは風光が秀麗で、洞内の宝石は水晶のように透け、純白な



玉のようで絶世の風景となる。郁南連灘の光儀大屋は典型的な嶺南古民居の建築風格を保存し、古色蒼然としている。郁南県の南江口は南江と西江の合流点であり、古代の海・陸シルクロードの合流地点でもある。羅定にある唐代の「龍龕道場銘」摩崖石刻は「嶺南第一唐刻」と呼ばれる。龍山温泉、龍山国恩寺、蟠龍洞、蟠龍天湖、龍湾天河瀑布と龍龕岩から構成した「龍の旅」は今人気な観光ルートになりつつある。

雲浮市は大理石（雲石）の名産地であり、大理石の加工も盛んであり、「石材王国」、「硫都」や「石都」などの美名がある。

名産物

南乳花生（ピーナッツ）、新興排米粉、新興香荔（ライチ）、新興話梅（うめ）、郁南蜜棗（なつめ）、羅定皺紗魚腐（魚からできた豆腐）







韶関（しょうかん）

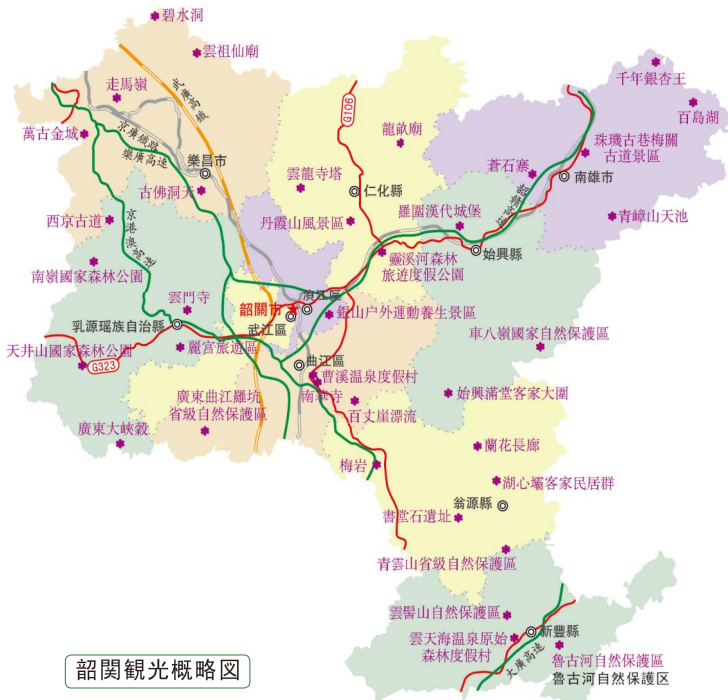
禅風の韶州は丹霞から生まれた

韶関は独特な丹霞地形を有し、峡谷、森林、温泉、鍾乳洞、瑶族の集落はすべて韶関の著名な観光地である。真っ赤な丹霞山には、礫岩、長老峰のご来光、有名な陽元石と陰園洞があり、天然の裸体公園と呼ばれている。韶関には広いカルスト地形があり、古仏岩、鉄龍洞、芙蓉洞、獅子岩などはみな山水の見える鍾乳洞である。韶関には広い森林があり、南方紅豆杉の森では冬に雪と樹氷を鑑賞し、南嶺国家森林公園では秋に満山の紅葉を観られる。韶関森林公園は市街地の中にあり、小坑国家森林公園の龍湖牙月と天井山は「広東の酸素バー」と呼ばれている。面積の広い国家森林公園のほかに、楊東山の十二度水、車八嶺の南嶺明珠、坪石鎮の九滝十八灘、乳源の南水ダム、馬壩鎮の曹溪温泉、武江河のイルカ楽園では、水遊びの楽しさを体験できる。韶関には瑶族と客家人等が点在し、乳源の必背瑶族集落にある賢坑歌舞、隘子鎮の満堂客家大囲は一風変わる民俗の風情を体験できる。東湖の坪古村には明清時代の古い屋敷があり、双峰寨の闖王城にある堡壘は幾度か世

🎁 名産物

冬筍と筍干（たけのこ）、白毛茶、樂昌馬蹄（シログワイ）、三華李（すもも）、馬壩油粘米（こめ）





韶關觀光概略図

の転換を見守っている。春梅の見える梅関古道、仙丹を煉る古い道観、六祖恵能の南華寺、虚雲和尚が講学した雲門寺、古い韶関は人文の韶関でもある。

広東にとっては、韶関が古い中原文化と南方の百越文化の融け合う地であり、中原地帯に最も近い地として、広東初の進士（中国古代の科挙試験の合格者）を生み出した地でもある。「海上生明月、天涯共此時（海上に明月が上がり、遥か遠くにいる人々は時を同じくして眺めている）」は唐代の名相になった張九齡の詩作である。韶関には客家人が多いが、南雄の珠璣巷は広府人の故里であり、巡礼の地でもある。



清遠（せいえん）

北江の明珠，清香が遠くかおる

嶺南の山水、北江の風光、広東の西北にある重要拠点、珠江デルタの山水後樂園、そこは清遠である。

清遠は山紫水明の嶺南名城であり、大龍山、瑶山などの山々と、北江、滄江、潯江の水が合流する地である。有名な英西峰林回廊は英徳市九龍鎮と黄花鎮の間にあり、千峰以上のカルストの山が一直線に分布するで名付けられ、「南天第一峰林」の美名がある。穿天岩と陽岩洞の2つの大鍾乳洞では、大自然の入神の技を体験できる。この観光スポットは周りの集落と一体化し、観光客は正真正銘の田園生活を楽しめ、大自然とのふれあいを満喫できる。清遠の天子山瀑布は天然の階段式瀑布群であり、広東清遠市清城区高田鎮西坑山区に位置する。清城区の最高峰となる天子山南麓は、自然資源が豊富で、山水の景観が近くにあり、竹海と瀑布群も有し、四季折々の景色と風情を味



わうことができる。天子大瀑布の泉水が山の中を走り、天後瀑布、飛龍瀑布、それに同心橋などの古色蒼然の十の橋を流れ、観光エリアの玄関口に達する。嶺南の瑶族集落の風情は、三列の瑶寨（瑶族集落）に長腰鼓、上岳の古村を山水が囲むと言われている。また、福林苑の壮族集落で青い煉瓦に映る田園風光を見て、そこでは焚き火を囲んだ歌舞も満喫できる。南崗の瑶族集落に広い段々畑、英紅鎮の英徳茶の香り、三坑にある満山のラベンダー、長青果園のフルーツ天国、清新温泉と江南水郷など、様々な景色が清遠にある。

名産物

清遠鶏、連州白茶、駱坑筍（たけのこ）、黄精（漢方薬材）、猴頭菇（きのこ）、沙田柚（ゆず）、英徳紅茶









5

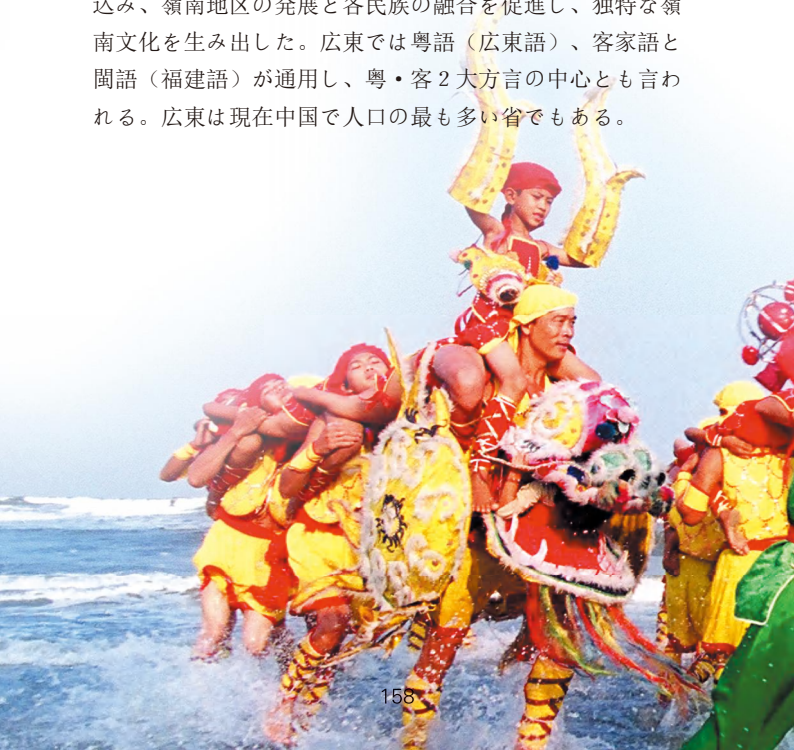
旅のハンドブック



広東の案内

広東、その名の意味は嶺南東道・広南東路である。広東は略称が「粵」で、省都が広州にあり、中国大陸の南沿岸に位置する省である（省は日本の県にあたる行政区画）。広東は南嶺の南、南中国海の海岸線に位置し、香港、マカオ、広西、湖南、江西と福建と隣接し、南には海南島がある。広東の管下には21の地級市（2つの副省級市）、119の県級行政区（60の市轄区、20の県級市、36の県、3つの自治県）がある（中国の行政区画は省級・地級・県級との上下の順位がある）。

広東人の先祖はほとんど中原から移住した漢民族であり、漢民族は比較的先進な技術と文化を嶺南地区に持ち込み、嶺南地区の発展と各民族の融合を促進し、独特な嶺南文化を生み出した。広東では粵語（広東語）、客家語と閩語（福建語）が通用し、粵・客2大方言の中心とも言われる。広東は現在中国で人口の最も多い省でもある。



広東は中国の南玄関口であり、中国の南海航運の中核として、秦漢時代から広東の人々が海路で世界各地との交流史を開拓し始めた。それにより広東は海上シルクロードの最も早い発祥地になった。改革開放以降、広東は改革開放の最前線と、西洋の経済、文化、科学技術を受け入れる窓口になった。世界ともっと広く深く交流し、互いに吸収融合する過程では、広東省は著しい実績を成し遂げた。

1989年より、広東地区のGDP（国際総生産）は中国No.1をキープし、中国第一の経済大省になり、経済量は全国の10.7%を占め、すでに中等先進国のレベルに達した。広東省域経済の総合競争力も中国1位である。2016年、広東省高技術（ハイテック・新技術）企業の数19857に達し、全国1位となり、特許申請受理件数、発明特許申請件数、特許認定件数はすべて全国1位となり、PCT国際特許申請件数は全国の56%を占め、15年連続で全国1位を占めている。広東珠江デルタ9市は協力して粵港澳大湾区を建設し、ニューヨーク、サンフランシスコ、東京と匹敵する世界四大ベイエリアの一つになる。





広東の特色民宿

1. 丹霞印象連鎖客棧（總店）

場所：韶關市仁化縣丹霞山景區門口1号（丹霞山景區正門左側）

電話：18826358888/ 0751-6922228

2. 喜臨院

場所：広州市番禺區洛浦街上漱村上滄船場（喜洲パーの向かい）

電話：18620733322

3. 慕吉・雲溪

場所：広州市增城区派潭鎮樟洞坑村水口社

電話：18122371681

4. 湖庐

場所：広州市從化区流溪河国家森林公园

電話：13360554043/ 13798278937

5. 世外梅園

場所：惠州市惠陽区沙田鎮金桔村梅園（金桔村近く）

電話：0752-3759168

6. 乌有・同金寨

場所：韶關市仁化縣丹霞街道車湾村紅歴坵（巴塞景区近く）

電話：0751-6922633

7. 畔森野奢

場所：雲浮市新興縣水台鎮双合公路（鎮政府近く）

電話：13828750744

8. 涟岸湖居

場所：肇慶市端州区岩前宝環大道城東街岩前社区居委会西側一棟

電話：0758-2270828

9. 本地治理

場所：惠州市惠東縣港口鎮海浜度假区港口中学向かい

電話：なし

10. 二十一度山居

場所：清遠市清新区浸潭鎮桃源片区新華村（244鄉道近く）

電話：15013239787

11. 天堂山庄

場所：惠州市龍門県221県道

電話：0752-7725555

12. 噢家民宿

場所：汕頭市金平区長平路平西一街4号104（龍度路近く）

電話：0754-89925188、18023269088

13. 铺背民宿

場所：清遠市清城区普北村（広楽高速高田出口より2キロ）

14. 有居

場所：清遠市清新区太和洞風景区内

電話：13415271994

15. 桃花壹号

場所：清遠市清新区浸潭鎮龍鬚帶村委牛逕村21号

16. 山外

場所：広東省清遠市清新区筆架山

電話：13610529068

17. 清新人家

場所：清遠市清新区龍頸鎮大坳村

18. 卷卷彩虹客栈

場所：深圳市大鵬新区南澳街道西湧芽山村67号（4号ビーチ近く）

19. 千寻客栈

場所：深圳龍崗区大鵬較場尾四西二巷5号，鵬飛路と銀灘路の交差点

20. 优咖民宿

場所：所在地：惠州惠陽区大垂湾經濟開發区霞湧辦事処新村九巷十七号

場所：広州市增城区派潭鎮樟洞坑村水口社

電話：18122371681



廣東景区推薦

5A景区

廣州：廣州市長隆旅遊度假區，廣州市白雲山風景名勝區

深圳：深圳市華僑城旅遊度假區，深圳市觀瀾湖休閒度假區

佛山：西樵山風景名勝區，長鹿旅遊休博園

惠州：羅浮山風景名勝區

中山：孫中山故里旅遊區

清遠：連州地下河

陽江：海陵島大角灣海上絲路旅遊區

韶關：丹霞山風景名勝區

梅州：雁南飛茶田旅遊度假區

4A 景区

広州

広州市中山記念堂

広州市蓮花山旅遊区

広州市宝墨園

広州市黃花崗公園

広州市西漢南越王墓博物館

広州市從化碧水灣温泉度假村

広州市越秀公園

広州市陳家祠旅遊区

広州市中国科学院華南植物園

広州起義烈士陵園

広州市動物園

広州市広東科学中心

広州市九龍湖旅遊区

広州市石頭記礦物園

広州市南海神廟景区

広州市增城白水寨旅遊区

広州市正佳広場商貿旅遊区

広州市嶺南印象園旅遊景区

広州市南沙滨海湿地景区

広州市広東門玄道觀

広州市広州塔景区

広州百万葵園主題公園

南沙天後宮

広州北京路文化旅遊区

広州沙湾古鎮景区

深圳

深圳市仙湖植物園

深圳市西部海上田園旅遊区

深圳市觀瀾山水田園農莊景区

深圳市野生動物園

深圳市青青世界旅遊区

深圳東部華僑城旅遊度假区

深圳市光明農場大觀園旅遊区

仏山

仏山市三水荷花世界

仏山市三水森林公園

仏山市清暉園

仏山市南風古灶旅遊区

仏山市西岸森林生態園

仏山市（順德區）陳村花卉世界

仏山市順德羅浮宮國際傢具藝術博覽中心景区

仏山市祖廟博物館

仏山市皂幕山旅遊風景区

仏山（國際）家居博覽城

4A 景区

佛山市 廣東盈香生態園

平洲玉器街景区

佛山市 三水温泉景区

中央電視台南海影視城景区

佛山市 樂從國際會展中心景区

東莞

東莞市 鴉片戰爭博物館

東莞展覽館

東莞市 松山湖景区

廣東東江縱隊紀念館

東莞市 觀音山國家森林公園

東莞市 清溪銀瓶山森林公園

東莞市 科學技術博物館

東莞市 南社村和塘尾村古建築群景区

東莞市 龍鳳山莊影視旅遊區

東莞市 可園博物館

東莞市 粵暉園旅遊景区

東莞市 逸頤芸捨博物館

東莞市 香市動物園

惠州

惠州市 西湖風景名勝區

惠州市 海濱溫泉旅遊度假區

惠州市 龍門溫泉旅遊度假區

惠州市 龍門天然溫泉旅遊區

惠州市 南崑山溫泉旅遊大觀園

惠州市 金海灣國際濱海旅遊區

惠州市 南崑山生態旅遊區

惠州市 葉挺將軍紀念園景区

惠州市 博羅五嶺·哈施塔特旅遊小鎮

中山

中山市 詹園

中山市 中國（大湧）紅木文化博覽城

景区

茂名

茂名市 廣東茂名森林公園

茂名市 電白御水古溫泉度假區

茂名市 放鷄島海上遊樂世界

茂名市 浪漫海岸景区

茂名市 南海旅遊島·中國第一灘景区

4A 景区

湛江

湛江市湖光岩風景名勝区

湛江市藍月湾温泉度假邨

湛江市金沙湾滨海休閒旅遊区

江門

江門市金山温泉旅遊度假区

江門市開平立園

江門市圭峰山風景名勝区

江門市新会古兜温泉旅遊度假村

江門市錦江温泉旅遊度假区

江門市川島旅遊度假区一下川島

江門市川島旅遊度假区一上川島

江門市康橋温泉景区

江門市山泉湾温泉旅遊度假区

珠海

珠海市円明新園

珠海市農科中心景区

珠海羅西尼工業旅遊

珠海御温泉度假村

珠海市東澳島旅遊度假区

珠海市外伶仃島旅遊度假区

肇慶

肇慶市星湖風景名勝区

肇慶市龍母祖廟景区

肇慶市盤龍峽景区

肇慶市德慶學宮景区

汕頭

汕頭市中信高爾夫海濱旅遊度假区

汕頭市礮石風景名勝区

汕頭市南澳生態旅遊区

汕頭市蓮華鄉村旅遊区

汕頭市方特歡樂世界·藍水星景区

汕頭市前美古村僑文化旅遊区

汕頭市蓮花峰旅遊区

揭陽

揭陽市京明温泉度假村

揭陽市陽美玉都旅遊景区

揭西黃滿寨瀑布旅遊区

揭陽市廣東望天湖生態旅遊度假区

4A景区

清远

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 清远市清新温矿泉旅游度假区 | 清远市奇洞温泉度假区 |
| 清远市广东省飞来峡水利枢纽风景区 | 清远市湟川三峡—龙潭文化生态旅游区 |
| 清远市碧桂园假日半岛故里旅游度假区 | 清远市森波拉度假森林景区 |
| 清远市玄真古洞生态旅游区 | 清远市颐傑鴻泰獅子湖景区 |
| 清远市黄腾峡生态旅游区 | 清远市德盈新銀蓋温泉景区 |
| 清远市聚龙湾天然温泉度假村 | 清远市南崗千年瑶寨景区 |
| 清远市水晶宫生态旅游度假区 | 清远市広東瑶族博物館 |
| 清远市広東第一峰旅遊風景区 | 清远市清新区古龍峽原生態旅遊区 |
| | 清远市洞天仙境生态旅游度假区 |

阳江

- | | |
|----------|--------------|
| 阳江市凌霄岩景区 | 阳江市陽西咸水礦温泉景区 |
|----------|--------------|

韶關

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 韶关市曹溪温泉假日度假村 | 韶关市南岭国家森林公园 |
| 韶关市广东大峡谷景区 | 韶关市珠玑古巷梅关古道景区 |
| 韶关市云门寺佛教文化生态保护区 | 韶关市新丰云天海温泉原始森林度假村景区 |
| 韶关市古佛洞天旅游区 | 韶关市银山户外运动养生景区 |
| 韶关市丽宫旅游区 | 韶关市经律论文化旅游小镇 |

梅州

- | | |
|-------------|--------------|
| 梅州市雁鸣湖旅游度假区 | 梅州市蕉嶺縣長潭旅遊区 |
| 梅州市葉劍英紀念園 | 梅州市百侯名鎮旅遊区 |
| 梅州市靈光寺旅遊区 | 梅州市五指石風景名勝区 |
| 梅州市客天下景区 | 広東神光山国家森林公园 |
| | 泰安楼客家文化旅游產業園 |

4A景区

潮州

潮州市東山湖温泉度假村

潮州市綠島旅遊山莊

潮州市淡浮收藏院

潮州市韓文公祠

潮州市廣濟橋文物旅遊景区

潮州市紫蓮森林度假村景区

河源

河源市新豐江国家森林公园

河源市御臨門温泉度假区

河源市和平温泉之都旅遊区

河源市蘇家圍東江画廊旅遊景区

河源市葉園温泉度假酒店分公司

河源市龍源温泉旅遊度假区

河源市巴伐利亞莊園

汕尾

汕尾市玄武山旅遊区

汕尾市城区鳳山祖廟旅遊区

汕尾市海豐蓮花山度假村

汕尾市銅鼎山旅遊区

汕尾紅海湾旅遊区

云浮

雲浮市六祖故里旅遊度假区

雲浮市金水台温泉景区

廣東天露山旅遊度假区







國家級非物質文化遺產

民間文學：澄海燈謎、雷州歌

傳統音樂：梅州客家山歌、中山咸水歌、嶺南派古琴藝術、仙山十番音樂、廣東音樂、潮州音樂、廣東漢樂、惠東漁歌

傳統舞蹈：人龍舞、汕尾滾地金龍、埔寨火龍、荷塘紗龍、喬林煙花火龍、醉龍舞、香火龍、廣東醒獅、湛江儺舞、普寧英哥、朝陽英哥、甲子英哥、樟木頭麒麟舞、大船坑舞麒麟、阪田永勝堂麒麟舞、沙頭角魚燈舞、禾樓舞、蜈蚣舞、三灶鶴舞、瑶族小長鼓舞、跳花棚

傳統戲劇：潮劇、正字戲、粵劇、西秦劇、白字戲、花朝戲、陸豐皮影戲、高州木偶戲、潮州鉄枝木偶戲、五華提線木偶戲、廣東漢劇、雷劇

曲藝：龍舟說唱、潮州歌冊、粵曲、木魚歌

傳統體育、遊藝與雜技：蔡李佛拳、賽龍舟

傳統美術：仙山木版年畫、廣東內畫、廣東剪紙、粵繡、象牙彫刻、潮州木彫、大吳泥塑、仙山彩燈、潮州彩燈、東莞千角燈、雷州石狗、廣州玉彫、陽美翡翠玉彫、廣州欖彫、仙山獅頭、灰塑、嵌瓷、新會葵藝、英石假山盆景技藝、瑶族刺繡、抽紗

傳統技藝：石灣陶塑技藝、廣式硬木傢具製作技藝、端硯製作技藝、涼茶、楓溪瓷燒制技藝、廣彩瓷燒制技藝、香雲紗染整技藝、白沙茅龍筆製作技藝、龍舟製作技藝、安琪廣式月餅製作技藝、潮州彩瓷燒制技藝、陶瓷微書

傳統醫藥：平樂郭氏正骨法、潘高壽傳統中藥文化、陳李濟傳統中藥文化

民俗：仙山秋色、瑶族盤王節、小欖菊花會、瑶族耍歌堂、洋村燈會、仙山祖廟廟會、南朗崖口飄紅、台山浮石飄色、吳川飄色、河田高景、門門水上婚嫁習俗、潮州工夫茶藝、裝泥魚習俗、寮步香市

